

# 総合的な学習の時間

## 単元プラン・他教科との関連集

令和2年3月

大分大学教育学部附属小学校

# 3年1組

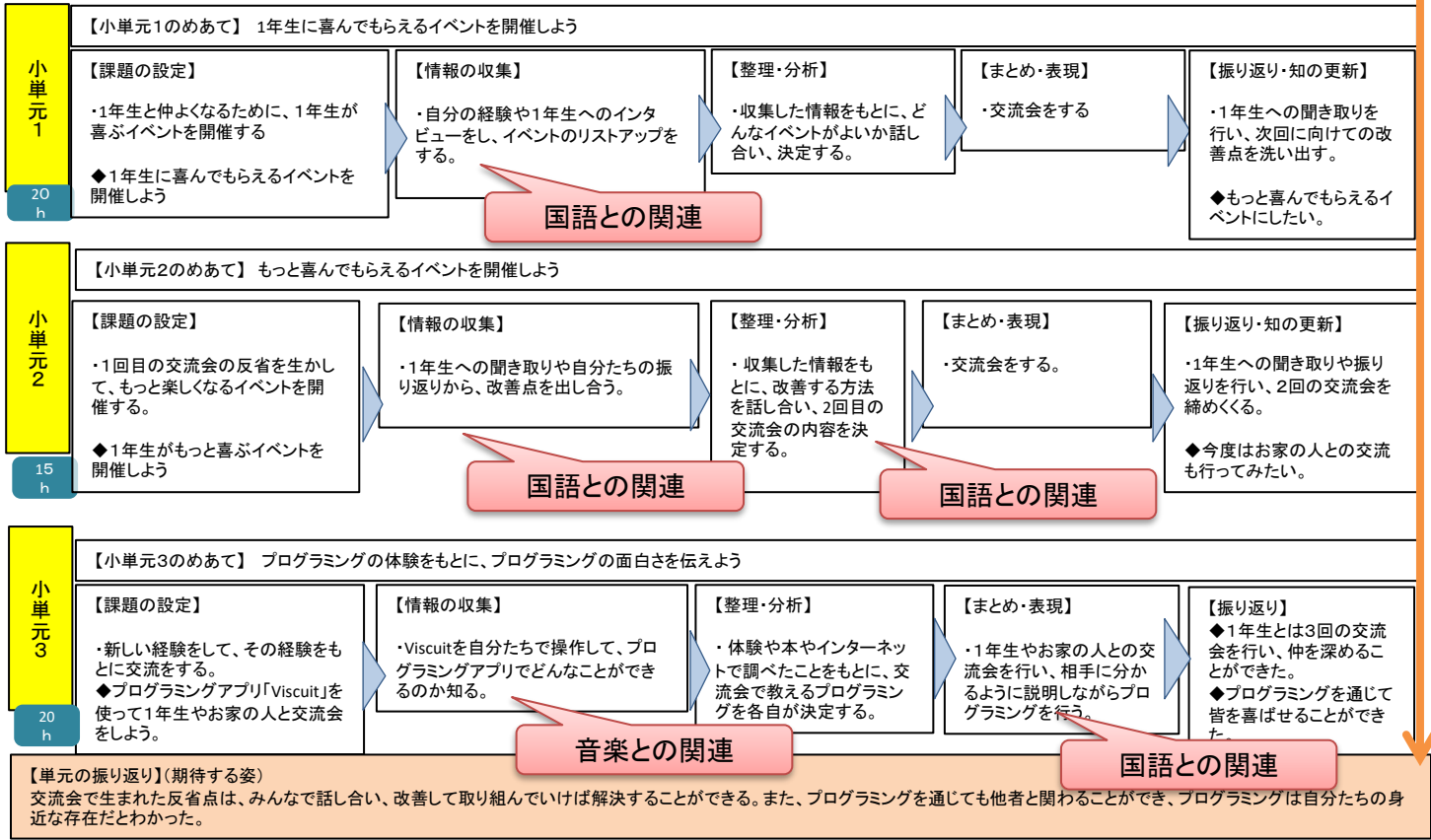
イベントを開催して、下級生やお家の人と  
交流しよう

# 小学校総合的な学習の時間の単元計画【第3学年1組】

探究課題: 室内遊びや外遊び、プログラミング体験を通じての他者への思いやり

単元のねらい: 室内遊びや外遊び、プログラミング体験を行う中で、探究的な見方・考え方を働かせ、相手が喜ぶ活動を考えたり、プログラミングを相手に分かりやすく説明したりすることを通して、友だちや下級生、お家の人と関わり、他者を思いやる行動ができるようにする。

単元のめあて: イベントを開催して、下級生やお家の人と交流しよう





# 本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名：イベントを開催して、下級生やお家の人と交流しよう(小学校第3学年:55時間)

時期	5月～9月	9月～12月	12月～3月
探究の過程	イベントを開催して、下級生やお家の人と交流しよう 【トランプ遊び交流】 (20時間)	イベントを開催して、下級生やお家の人と交流しよう 【外遊び交流】 (15時間)	イベントを開催して、下級生やお家の人と交流しよう 【プログラミング体験・交流】 (20時間)
課題設定	【課題の設定】 ・1年生と仲よくなるために、1年生が喜ぶイベントを開催する  ◆1年生に喜んでもらえるイベントを開催しよう	【課題の設定】 ・1回目の交流会の反省を生かして、もっと楽しくなるイベントを開催する。  ◆1年生がもっと喜ぶイベントを開催しよう	【課題の設定】 ・新しい経験をして、その経験をもとに交流をする。 ◆プログラミングアプリ「Viscuit」を使って1年生やお家の人と交流会をしよう。
情報収集	・自分の経験や1年生へのインタビューをし、イベントのリストアップをする。	・1年生への聞き取りや自分たちの振り返りから、改善点を出し合う。	・Viscuitを自分たちで操作して、プログラミングアプリでどんなことができるのか知る。 (迷路ゲーム シューティングゲーム メロディ作り 3ヒントクイズ)
整理分析	・収集した情報をもとに、どんなイベントがよいか話し合い、決定する。	・収集した情報をもとに、改善する方法を話し合い、2回目の交流会の内容を決定する。	・体験や本やインターネットで調べたことをもとに、交流会で教えるプログラミングを各自が決定する。
まとめ 表現 振り返り	【まとめ・表現】 ・交流会をする。 【振り返り・知の更新】 ・1年生への聞き取りを行い、次回に向けての改善点を洗い出す。  ◆もっと喜んでもらえるイベントにしたい。	【まとめ・表現】 ・交流会をする。 【振り返り・知の更新】 ・1年生への聞き取りや振り返りを行い、2回の交流会を締めくくる。  ◆今度はお家の人との交流も行ってみたい。	【まとめ・表現】 ・1年生やお家の人との交流会を行い、相手に分かるように説明しながらプログラミングを行う。 【振り返り・知の更新】 ◆1年生とは3回の交流会を行い、仲を深めることができた。 ◆プログラミングを通じて皆を喜ばせることができた。

【国語】2年「きつつき おもちゃ大会をひらこう」(読む)  
・たこの作り方説明するために必要な言葉を書き抜いている(思・読工)

【音楽】「拍の流れにのってリズムを感じ取ろう」(3年・既習)  
・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について理解すること。(共通事項・知)

【国語】  
「聞き取りクイズをしよう」  
・話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりする。【A-エ】

【国語】～学級が楽しくなる係について話し合おう～  
(学級全体で話し合ってから考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること)  
互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案等の役割を果たしながら、進行に沿って話し合っている。【A-オ】  
表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。【伝国イ(オ)】

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話す・聞く)  
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)  
・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。  
(思・話聞イ)

# 3年2組

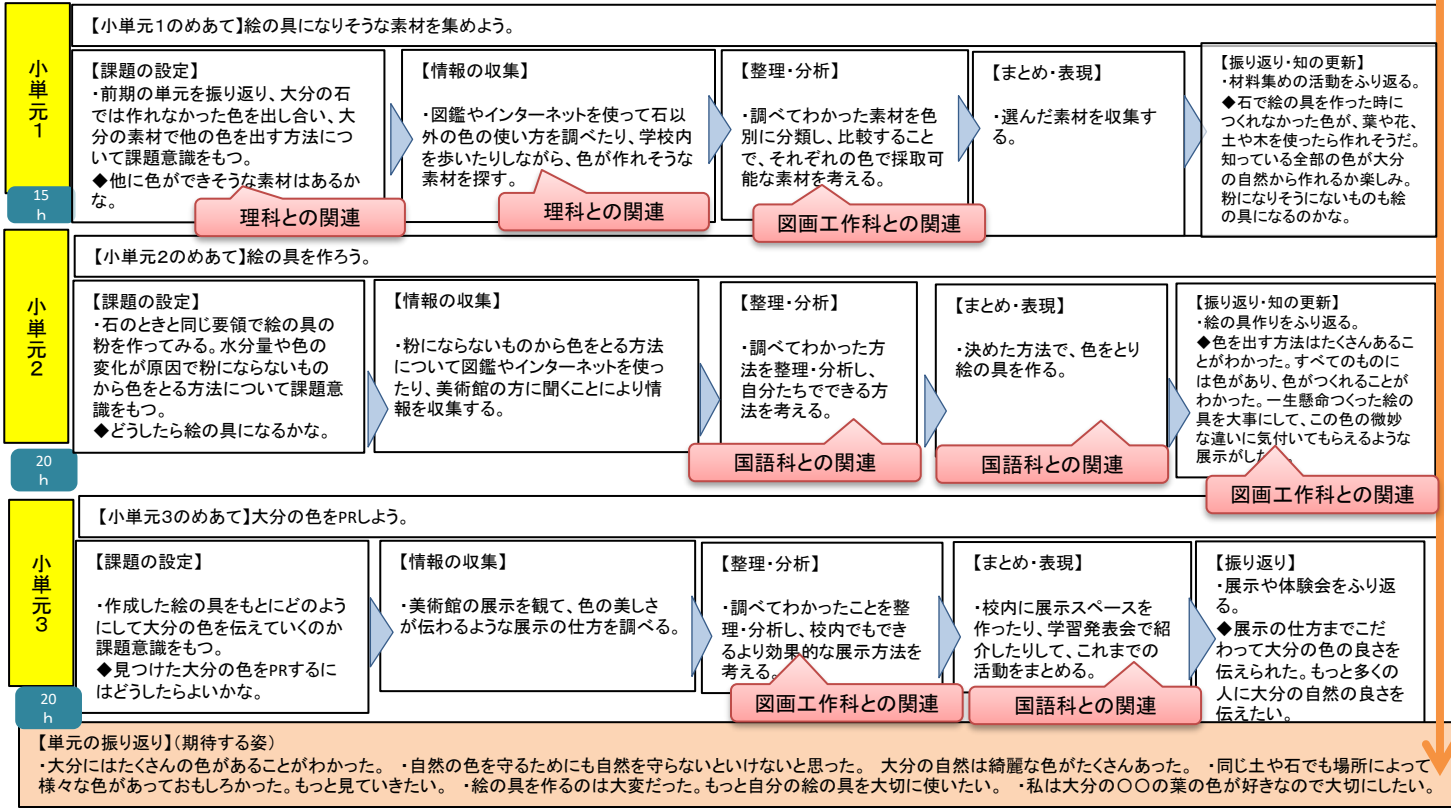
大分県の色をPRしよう

# 小学校総合的な学習の時間の単元計画【第3学年2組】

探究課題: 絵の具作りの面白さや工夫、大分の自然と色の面白さ、大分の自然を守る人々の工夫や思い

単元のねらい: 探求的な見方・考え方を働かせ、自然の中にある色を見つけたり、素材から色を抽出して絵の具にしたりすることを通して、ものづくりの楽しさを体験し、地域の自然の良さに気付くことができるようにする。

単元のめあて: 大分県の色をPRLしよう



## 本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名：大分県の色をPRしよう（小学校第3学年：55時間）

時期	9月～10月	11月～12月	1月～3月
探究の過程	絵の具になりそうな素材を集めよう。 (15時間)	絵の具を作ろう。 (20時間)	大分の色をPRしよう。 (20時間)
課題設定	【課題の設定】 ・前期の単元を振り返り、大分の石では作れなかった色を出し合い、大分の素材で他の色を出す方法について課題意識をもつ。	【課題の設定】 ・石のときと同じ要領で絵の具の粉を作ってみる。水分量や色の変化が原因で粉にならないものから色をとる方法について課題意識をもつ。	【課題の設定】 ・作成した絵の具をもとにどのような大分の色を伝えていくのか課題意識をもつ。
情報収集	・図鑑やインターネットを使って石以外の色の使い方を調べたり、学校内を歩いたりしながら、色が作れそうな素材を探す。	・粉にならないものから色をとる方法について図鑑やインターネットを使ったり、美術館の展示場などに聞くことにより情報を収集する。	・美術館の展示場に行く、色の美しさが伝わるような展示の仕方を探る。
整理分析	・調べてわかった素材を色別に分類し、比較することで、それぞれの色で採取可能な素材を考える。	・調べてわかった方法を整理・分析し、自分たちでできる方法を考える。	・調べてわかったことを整理・分析し、校内でもできるより効果的な展示方法を考える。
まとめ 表現 振り返り	【まとめ・表現】 ・選んだ素材を収集する。 【振り返り・知の更新】 ・材料集めの活動をふり返る。 ◆石で絵の具を作った時につくれなかった色が、葉や花、土や木を使ったら作れそう。知っている全部の色が大分の自然から作れるか楽しみ。粉になりそうにならないもの絵の具になるのかな。	【まとめ・表現】 ・決めた方法で、色をとり絵の具を作る。 【振り返り・知の更新】 ・絵の具作りをふり返る。 ◆色を出す方法はたくさんあることがわかった。すべてのものには色があり、色がつくることがわかった。一生懸命つくった絵の具を大事にして、この色の微妙な違いに気付いてもらえるような展示がしたい。	【まとめ・表現】 ・校内に展示スペースを作ったり、学習発表会に紹介したりして、これまでの活動をまとめる。 【振り返り・知の更新】 ・展示や体験会をふりかえる。 ◆展示の仕方までこだわって大分の色を伝えられた。もっと多くの人に大分の自然の色を伝えたい。

【理科】  
「しぜんをかんさつしよう」  
・生物は、色、形、大きさなど姿に違いがあること。または、周辺環境と関わって生きていること。【知・B-1(ア)】

【国語】  
「聞き取りクイズをしよう」  
・話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりする。【技・話聞エ】

【図工】「色・形いい感じ」(3年)  
・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。【思・A-1(イ)】

【国語】～学級が楽しくなる係について話し合おう～  
(学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること)  
互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案等の役割を果たしながら、進行に沿って話し合っている。【思・Aオ】  
表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。【知・伝聞イオ】

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話し・聞く)  
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。【思・話聞ア】  
・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。【思・話聞イ】

【図工】「くぎうちトントン」  
・絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に動かさず、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。【技・A-2(イ)】



## 単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探求的な見方・考え方を働かせ、自然の中にある色を見つけたり、素材から色を抽出して絵の具にしたりすることを通して、ものづくりの楽しさを体感し、地域の自然の良さに気付くことができるようにする。



【地域の自然の良さに気付く】  
「〇〇さんの石は、白と透明が入っていて綺麗。どこでとったんだろう。」  
(発言)

【地域の自然の良さに気付く】  
「石の割れたところをよく見ると、青だけじゃなくてオレンジの色のところもあった。」  
(ふりかえり)

### 【地域の自然の良さに気付く】

「大分県の石で、こんなにたくさん色が作れると知って、びっくりした。紫の絵の具を作りたいから、紫の石を探したい。」(ふりかえり)



【ものづくりの楽しさを体感】  
「この前石で絵の具を作ったときは、すりつぶした後の粉が大きすぎて、ぬった後にぼろぼろ取れてしまったから、つぎの葉っぱで絵の具をつくるときは、もっと粉々にしたい。」  
(ふりかえりより)



【ものづくりの楽しさを体感】  
「ヒオウギ貝をくだいたら、きれいな黄色やピンクやオレンジができてうれしかった。」(ふりかえり)  
「砂場の新しい砂の中に小さな貝がたくさんあったから、それでも絵の具を作ってみたらきれいな色ができそう」(発言)



【地域の自然の良さに気付く】  
「みんながもってきた土の色がぜんぜんちがって、土だけでも絵がかけた。選んでいるお母さんたちも楽しそうよかった。」  
(絵の具作り体験会のふりかえり)

# 3年3組

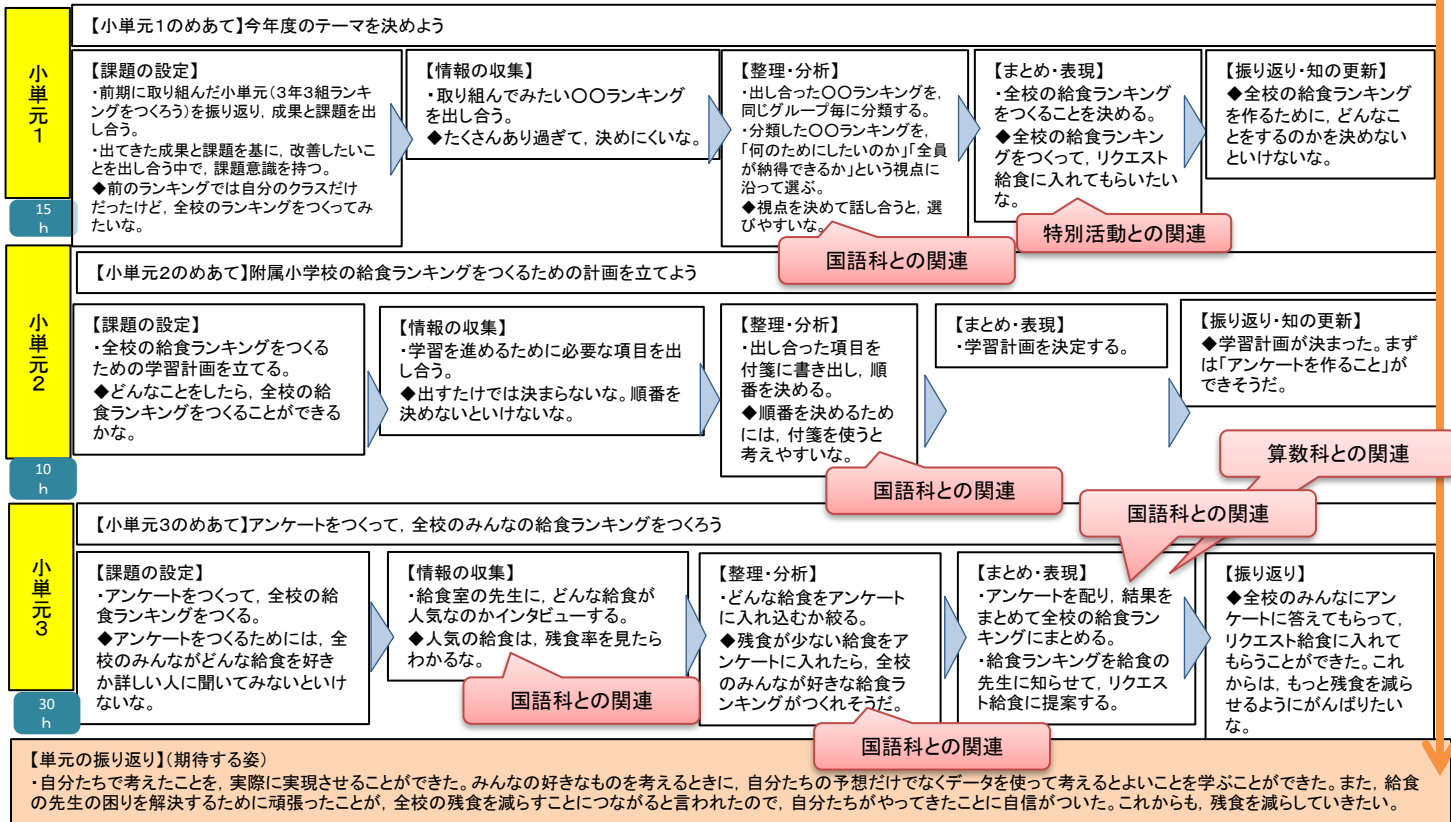
附属小学校の給食ランキングをつくって、  
リクエスト給食にリクエストしよう！

# 小学校総合的な学習の時間の単元計画【第3学年3組】

探究課題： 学校給食、学校給食に携わる人々の工夫や願い

単元のねらい： 探究的な見方・考え方を働かせ、給食ランキングを作り、附属小学校の給食のよさや栄養教諭の困りを知ることを通して、附属小学校の給食をよりよくするために行動しようし、学んだ内容や自分のよさに気付くことができるようにする。

単元のめあて： 附属小学校の給食ランキングをつくって、リクエスト給食にリクエストしよう！



単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、給食ランキングを作り、附属小学校の給食のよさや栄養教諭の困りを知ることを通して、附属小学校の給食をよりよくするために行動しようし、学んだ内容や自分のよさに気付くことができるようにする。



**【附属小学校の給食をよりよくするために行動しようとする】**

給食の先生が残食を減らしたいと言っていたので、好きな給食のアンケートを配る時に残食を減らすためのメッセージも伝えたいです。

(※栄養教諭の困りを知り、自分たちの取組で解決しようとする姿)



**【学んだ内容や自分のよさに気付くことができる】**

給食の先生から、リクエスト給食にしてもらえらること、残食が減るかもしれないことを教えてもらって、お礼も言ってもらえました。1年間頑張ってきたことが役に立って自信になりました。

(※活動を振り返り、給食の先生の役に立ったことを実感し、自分たちの活動のよさに気付いている姿)

# 本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 附属小学校の給食ランキングをつくって、リクエスト給食にリクエストしよう！（小学校第3学年：55時間）

時期	9月～10月	11月～12月	1月～2月
探究の過程	今年度のテーマを決めよう (15時間)	附属小学校の給食ランキングをつくるための計画を立てよう (10時間)	アンケートをつくって、全校のみんなの給食ランキングをつくろう (15時間)
課題設定	・前期に取り組んだ小単元(3年3組ランキングをつくる)を振り返り、成果と課題を出し合う。 ・出てきた成果と課題を基に、改善したいことを出し合う中で、課題意識を持つ。 ◆前のランキングでは自分のクラスだけだったけど、全校のランキングをつくってみたい。	・全校の給食ランキングをつくるための学習計画を立てる。 ◆どんなことをしたら、全校の給食ランキングをつくることができるかな。	・アンケートをつくって、全校の給食ランキングをつくる。 ◆アンケートをつくるためには、全校のみんながどんな給食を好きか詳しい人に聞いてみたい。
情報収集	・取り組んでみたい○○ランキングを出し合う。 ◆たくさんあり過ぎて、決めにくい。	・学習を進めるために必要な項目を出し合う。 ◆出すだけでは決まらない。順番を決めないといけない。	・給食室の先生に、どんな給食が人気なのかインタビューする。 ◆人気の給食は、残食率を見たらわかるな。
整理分析	・出した○○ランキングを、同じグループ毎に分類する。 ・分類した○○ランキングを、「何のためにしたいのか」「全員が納得できるか」という視点に沿って選ぶ。 ◆視点を決めて話し合うと、選びやすい。	・出した項目を付箋に書き出し、順番を決める。 ◆順番を決めるためには、付箋を使うと考えやすい。	・どんな給食をアンケートに入れ込むか絞る。 ◆残食が少ない給食をアンケートに入れたら、全校のみんなが好きな給食ランキングがつけられそう。
まとめ 振り返り	【まとめ・表現】 ・全校の給食ランキングをつくることを決める。 ◆全校の給食ランキングをつくって、リクエスト給食に入れてもらいたい。 【振り返り・知の更新】 ◆全校の給食ランキングを作るために、どんなことをするのかを決めないといけない。	【まとめ・表現】 ・学習計画を決定する。 【振り返り・知の更新】 ◆学習計画が決まった。まずは「アンケート」を行えることができそう。	【まとめ・表現】 ・アンケートを配り、結果をまとめて全校の給食ランキングにまとめる。 ・給食ランキングを給食の先生に知らせ、リクエスト給食に提案する。 【振り返り・知の更新】 ◆全校のみんなにアンケートを答えてもらって、リクエスト給食に入れてもらうことができた。これからは、もっと残食を減らせるようにがんばりたい。

【国語】「たからものを紹介しよう」(話す・聞く)  
・必要のことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。  
(思・話聞エ)

【算数】「表とグラフ」  
・身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすること。(思・D(1)ア)

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話す・聞く)  
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。  
(思・話聞ア)  
・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

【国語】「はったしたことを詩に書こう」(書く)  
・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。(思・書ア)

【特別活動】「感謝を伝えよう(食育)」  
・給食の時間を中心としながら、健康に良い食事のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくなること。  
(学・学級活動(2)エ)

「考えるための技法」の活用

# 4年1組

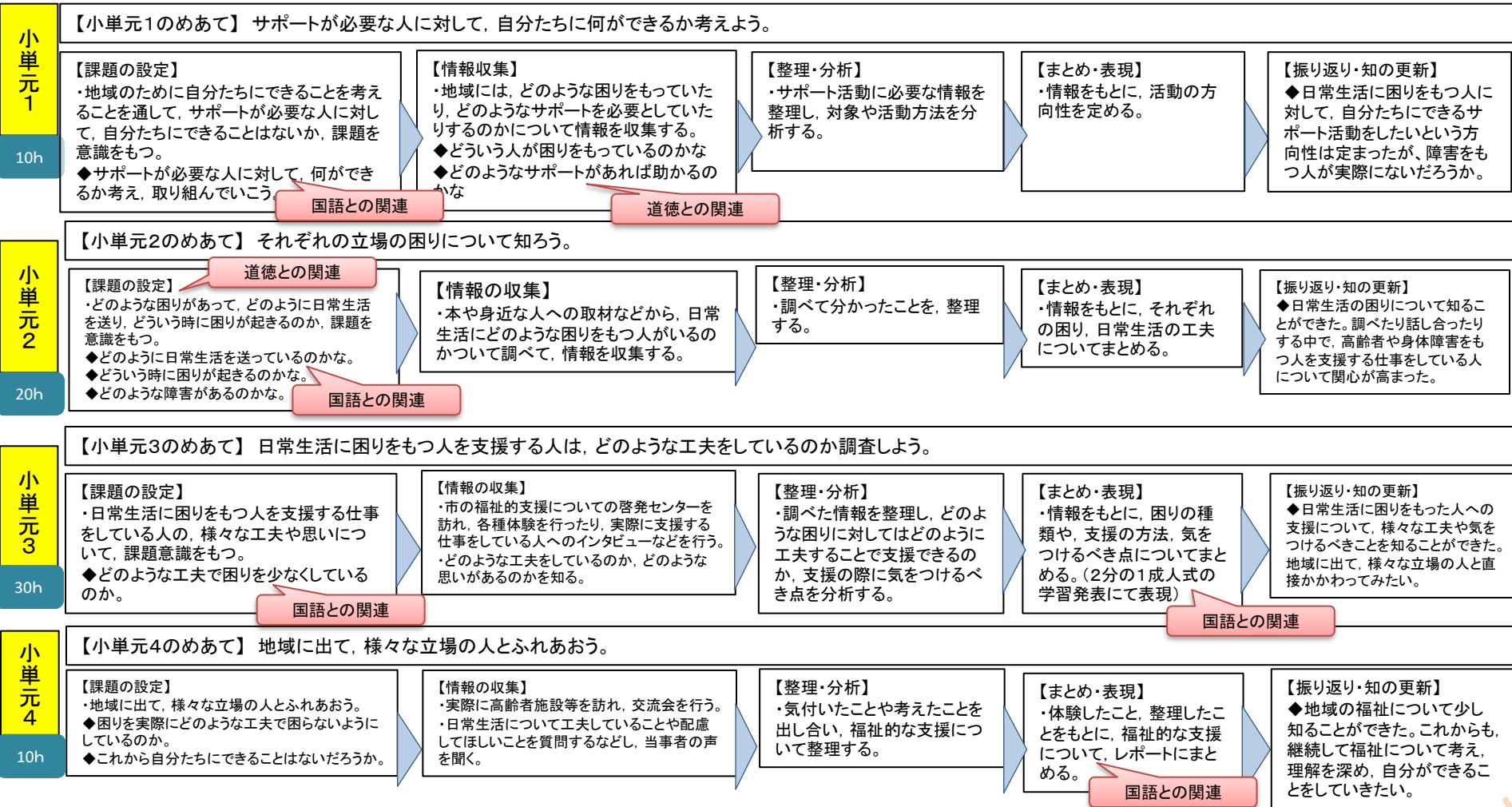
**地域のサポートが必要な人に対して、自分たちに何ができるか考え、実行しよう。**

# 小学校総合的な学習の時間の単元計画【第4学年1組】

探究課題： 福祉的な支援が必要な人々、福祉の仕事にたずさわる人々の工夫や思い

単元のねらい： 探究的な見方・考え方を働かせ、福祉の仕事にたずさわる人々や福祉的な支援を啓発する人々と関わり、福祉的な支援のために自分たちができるところを考えることを通して、福祉についての理解を深めることができるようにする。

単元のめあて： 地域のサポートが必要な人に対して、自分たちに何ができるか考え、実行しよう。



【単元の振り返り】(期待する姿)

・これまで高齢者の方や、妊婦さん、車椅子や白杖を使用する人など、何に困るのかという具体的なイメージでできなかったけど、体験してみたり実際にサポートしている人の話を聞いたりしたことで、福祉の大切さについて考えることができた。障害をもつ人にその人の障害のことを直接聞いてもいいのかな？など、関わり方がわからなくてとどまったけど、学級でもそれを話題にして話し合ったことで、自分の困りも解決できた。

## 単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、大分の食材を使った料理を試作し、発信する活動を通して、大分の食への興味・関心を高めることができるようにする。



### 【体験を通して、探究活動への主体性を高める】

体験して初めて妊婦の大変さを少しだけ知った。もっと詳しく知りたいので、班の皆がそれぞれお母さんに妊婦だった頃の大変さや、サポートしてほしいことなどをインタビューして、ポスターにまとめよう。

(※気になったことについて、自ら調査対象を広げ追究する姿)

### 【発信に向けて、協働して作り上げる】

自分たちの班の発表に向けて、特に強調したい部分についての意見が分かれたが、それぞれの意見の良いところを組み合わせることで構成できた。

(※他者と力を合わせて考え、実行しようとする姿)

### 【発信を通して、福祉への興味・関心を高める】

2分の1成人式で発表したことをきっかけに、老人ホームに住むひいおばあちゃんのことや、お母さんが妊婦だった頃のことを、家族で話すようになった。自分からも積極的に話題に出すようになった。

(※学習したことを、生活や次の課題に生かそうとする姿)





# 本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名: 地域のサポートが必要な人に対して、自分たちに何ができるか考え、実行しよう。(小学校第4学年:70時間)

時期	4月～5月	6月～7月	9月～12月	1月～3月
探究の過程	サポートが必要な人に対して、自分たちに何ができるか考えよう。 (10時間)	それぞれの立場の困りについて知ろう。 (10時間)	日常生活に困りをもつ人を支援する人は、どのような工夫をしているのか調査しよう。 (25時間)	地域に出て、様々な立場の人とふれあおう。 (25時間)
課題設定	・地域のために自分たちにできることを考えることを通して、サポートが必要な人に対して、自分たちにできることはないか、課題を意識をもつ。 ◆サポートが必要な人に対して、何ができるか考え、取り組んでいこう。	・どのような困りがある、どのように日常生活を送り、どうい時に困りが起きるのか、課題を意識をもつ。 ◆どのように日常生活を送っているのかな。 ◆どうい時に困りが起きるのかな。 ◆どのような障害があるのかな。	・日常生活に困りをもつ人を支援する仕事をしている人の、様々な工夫について、課題意識をもつ。 ◆どのような工夫で困りを少なくしているのか。	・地域に出て、様々な立場の人とふれあおう。 ◆困りを実際にどのような工夫で困らないようにしているのか。 ◆これから自分たちにできることはないだろうか。
情報収集	・地域には、どのような困りをもっていたり、どのようなサポートを必要としていたりするのかについて情報を収集する。 ◆どうい人が困りをもっているのかな ◆どのようなサポートがあれば助かるのかな	・本や身近な人への取材などから、日常生活にどのような困りをもつ人がいるのかについて調べて、情報を収集する。	・市の福祉的支援についての啓発センターを訪れ、各種体験を行ったり、実際に支援する仕事をしている人へのインタビューなどを行う。 ・どのような工夫をしているのか、どのような思いがあるのかを知る。	・実際に高齢者施設等を訪れ、交流会を行う。 ・日常生活について工夫していることや配慮してほしいことを質問するなどし、当事者の声を知る。
整理分析	・サポート活動に必要な情報を整理し、対象や活動方法を分析する。	・調べて分かったことを、整理する。	・調べた情報を整理し、どのような困りに対してはどのように工夫することで支援できるのか、支援の際に気をつけるべき点を分析する。	・気付いたことや考えたことを出し合い、福祉的な支援について整理する。
まとめ 表現 振り返り	【まとめ・表現】 ・情報をもとに、活動の方向性を定める。  【振り返り・知の更新】 ◆日常生活に困りをもつ人に対して、自分たちにできるサポート活動をしたという方向性は定まったが、障害をもつ人が実際にはないだろうか。	【まとめ・表現】 ・情報をもとに、それぞれの困り、日常生活の工夫についてまとめる。  【振り返り・知の更新】 ◆日常生活の困りについて知ることができた。調べたり話し合ったりする中で、高齢者や身体障害をもつ人を支援する仕事をしている人について関心が高まった。	【まとめ・表現】 ・情報をもとに、困りの種類や、支援の方法、気をつけるべき点についてまとめる。(2分の1成入式の学習発表にて表現)  【振り返り・知の更新】 ◆日常生活に困りをもつ人への支援について、様々な工夫や気をつけるべきことを知ることができた。地域に出て、様々な立場の人と直接かかわってみたい。	【まとめ・表現】 ・体験したこと、整理したことをもとに、福祉的な支援について、レポートにまとめる。  【振り返り】 ◆地域の福祉について少し知ることができた。これからも、継続して福祉について考え、理解を深め、自分ができることをしていきたい。

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話す・聞く)  
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)  
・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

「考えるための技法」の活用

【道徳】「思いやりのかたち」  
・視覚障害者の女性に手を貸す「わたし」や、点字ブロックを考案した三宅さんの姿を通して、人を思いやることについて考え、相手のことを自分のこととして想像し、親切な行為を進んで行おうとする実践意欲と態度をもつこと。B(6)親切、思いやり

【国語】「4年3組レッドデータブックを作ろう」(読む)  
・目的を意識して、中心となる語や分を見つけて要約すること(思・読ウ)

【国語】「学級新聞を作ろう」(書く)  
・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること(思・書イ)

# 4年2組

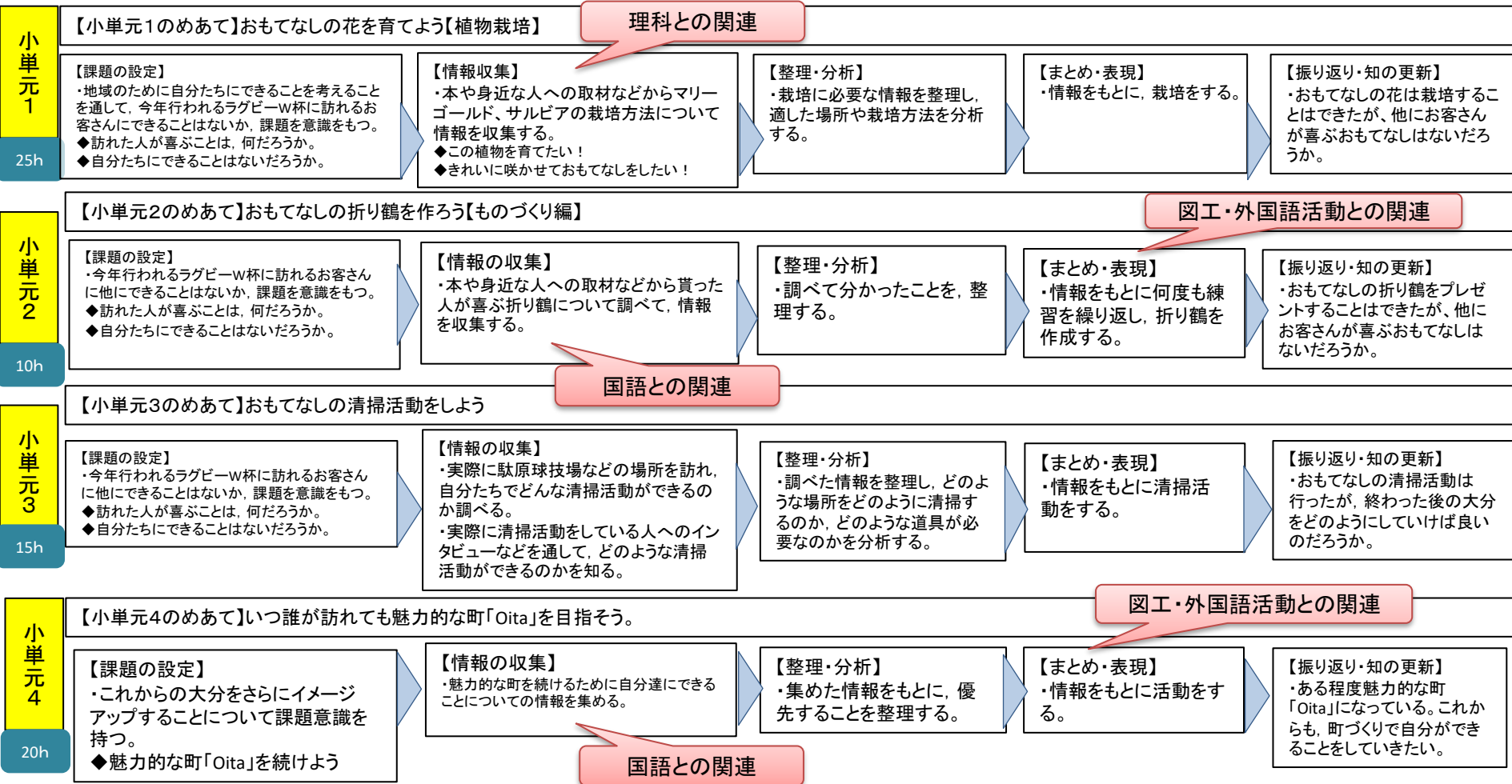
おもてなしの町づくりプロジェクト  
～ラグビーW杯に来たお客さんへ  
おもてなしの気持ちを届けよう～

# 小学校総合的な学習の時間の単元計画【第4学年2組】

探究課題： 美しい町づくりとそれにたずさわる地域の人々の努力や工夫

単元のねらい： 探究的な見方・考え方を働かせ、ラグビーW杯や町づくりに関わる人々や地域の人々の声を聞き、自分たちができていることを考え地域を訪れる人々へのおもてなし活動を通して、地域と自分とのつながりに気づき地域の活動に自分から進んで参加しようとするができるようにする。

単元のめあて： おもてなしの町づくりプロジェクト ～ラグビーW杯に来たお客さんへおもてなしの気持ちを届けよう～



## 【単元の振り返り】(期待する姿)

・分からないことはとことん調べたりいろんな人に聞いたりして解決してきた。何回も失敗して苦労したけど、そのたびにみんなで原因をさぐって改善し、協力してうまくできた時や物が完成した時、地域の人やお客さんが喜んでくれた時にはとてもうれしかった。自分たちでできたという達成感があった。サポートしてくれた専門家の人たちに感謝の気持ちを伝えたい。

# 本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名: おもてなしの町づくりプロジェクト ～ラグビーW杯に来たお客さんへおもてなしの気持ちを届けよう～(小学校第4学年:70時間)

時期	5月～7月	9月～10月	11月～12月	1月～3月
探究の過程	おもてなしの花を育てよう 【植物栽培】 (25時間)	おもてなしの折り鶴を作ろう 【ものづくり編】 (10時間)	おもてなしの清掃活動しよう (15時間)	いつ誰が訪れても魅力的な町「Oita」を目指そう (20時間)
課題設定	【課題の設定】 ・地域のために自分たちができることを考えるを通して、今年行われるラグビーW杯に訪れるお客さんにできることはないか、課題を意識をもつ。 ◆訪れた人が喜ぶことは、何だろうか。 ◆自分たちにできることはないだろうか。	【課題の設定】 ・今年行われるラグビーW杯に訪れるお客さんに他にできることはないか、課題を意識をもつ。 ◆訪れた人が喜ぶことは、何だろうか。 ◆自分たちにできることはないだろうか。	【課題の設定】 ・今年行われるラグビーW杯に訪れるお客さんに他にできることはないか、課題を意識をもつ。 ◆訪れた人が喜ぶことは、何だろうか。 ◆自分たちにできることはないだろうか。	【課題の設定】 ・これからの大分をさらにイメージアップすることについて課題意識を持つ。 ◆魅力的な町「Oita」を続けよう
情報収集	【情報収集】 ・本や身近な人への取材などからマリーゴールド、サルビアの栽培方法について情報を収集する。 ◆この植物を育てたい！ ◆きれいに咲かせておもてなしをしたい！	【情報の収集】 ・本や身近な人への取材などから貰った人が喜ぶ折り鶴について調べて、情報を収集する。	【情報の収集】 ・実際に駄原球場などの場所を訪れ、自分たちでどんな清掃活動ができるのか調べる。 ・実際に清掃活動をしている人へのインタビューなどを通して、どのような清掃活動ができるのかを知る。	【情報の収集】 ・魅力的な町を続けるために自分達にできることについての情報を集める。
整理分析	【整理・分析】 ・栽培に必要な情報を整理し、適した場所や栽培方法を分析する。	【整理・分析】 ・調べて分かったことを、整理する。	【整理・分析】 ・調べた情報を整理し、どのような場所をどのように清掃するのか、どのような道具が必要なのかを分析する。	【整理・分析】 ・集めた情報をもとに、優先することを整理する。
まとめ 表現 振り返り	【まとめ・表現】 ・情報をもとに、栽培をする。 【振り返り・知の更新】 ・おもてなしの花は栽培することはできたが、他にお客さんが喜ぶおもてなしはないだろうか。	【まとめ・表現】 ・情報をもとに何度も練習を繰り返し、折り鶴を作成する。 【振り返り・知の更新】 ・おもてなしの折り鶴をプレゼントすることはできたが、他にお客さんが喜ぶおもてなしはないだろうか。	【まとめ・表現】 ・情報をもとに清掃活動をする。 【振り返り・知の更新】 ・おもてなしの清掃活動は行ったが、終わった後の大分をどのようにしていけば良いのだろうか。	【まとめ・表現】 ・情報をもとに活動をする。 【振り返り・知の更新】 ・ある程度魅力的な町「Oita」になっている。これからも、町づくりで自分ができることをしていきたい。

【理科】「身近な植物の様子」  
・植物の生長について興味・関心を持って追及する活動を通して、植物の成長を季節と関係づける能力を育てるとともに、それらについて理解を図り、植物の成長と環境との関わりについて見方や考え方をもちこができるようにする。(関・意・態)(思・表)

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話す・聞く)  
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)  
・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

【図工】「色・形いい感じ」(3年既習)  
・自分の色で試し表しながら、思いに合う表し方を工夫する。(技)

【国語】「学級新聞を作ろう」(書く)  
・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること(思・書イ)

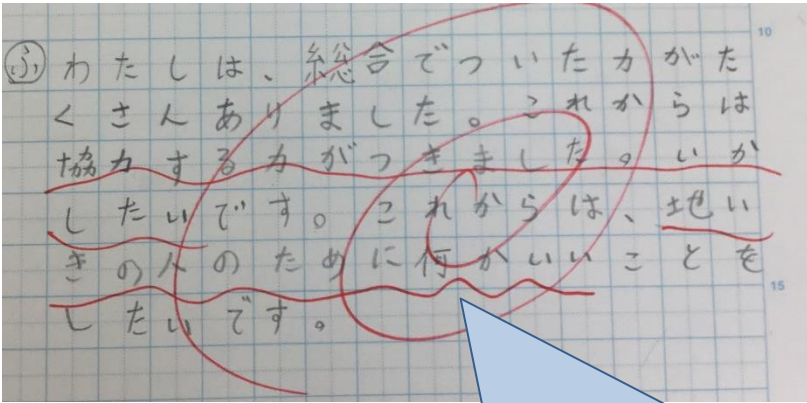
【国語】「4年3組レッドデータブックを作ろう」(読む)  
・目的を意識して、中心となる語や分を見つけて要約すること(思・読ウ)

「考えるための技法」の活用

# 単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

探究的な見方・考え方を働かせ、ラグビーW杯や町づくりに関わる人々や地域の人々の声を聞き、自分たちができることを考え地域を訪れる人々へのおもてなし活動を通して、地域と自分とのつながりに気づき地域の活動に自分から進んで参加しようとするすることができるようにする。

単元のねらい:



## 【自ら社会(地域)参画しようとする態度】

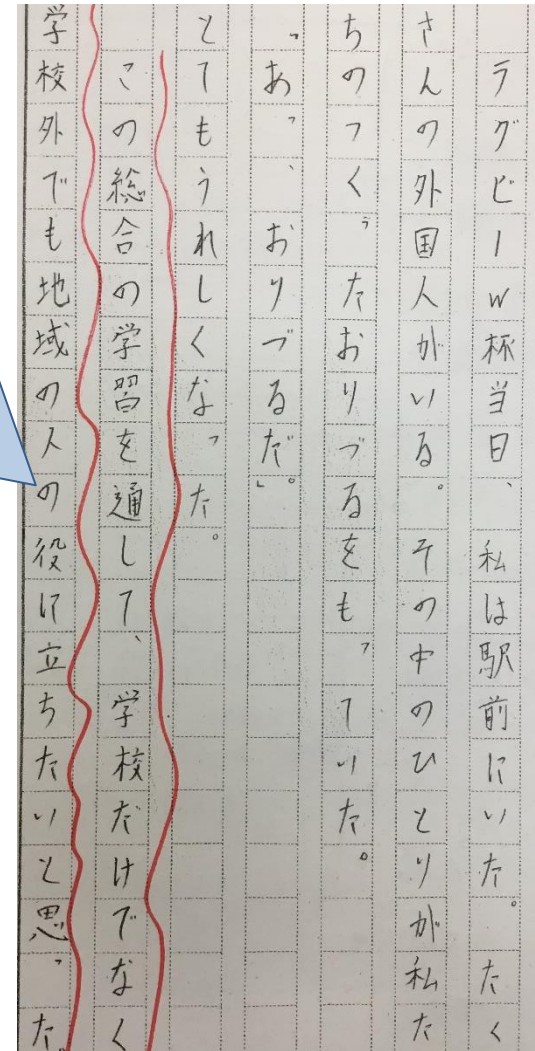
今年一年間の地域に関わる活動を通してつけた力について振り返り、これからは地域のために何かできることをしていきたい。

(地域の活動に進んで参加していこうとする姿)

## 【自ら社会(地域)参画しようとする態度】

ラグビーワールドカップの当日に、自分達が作成した折り鶴を持っていたお客さんに出会い、喜びが生まれたと共に、これからは学校の活動だけでなく学校外でも地域のために役立つことをしていきたい。

(地域の活動に自分から進んで参加していこうとする姿)



# 4年3組

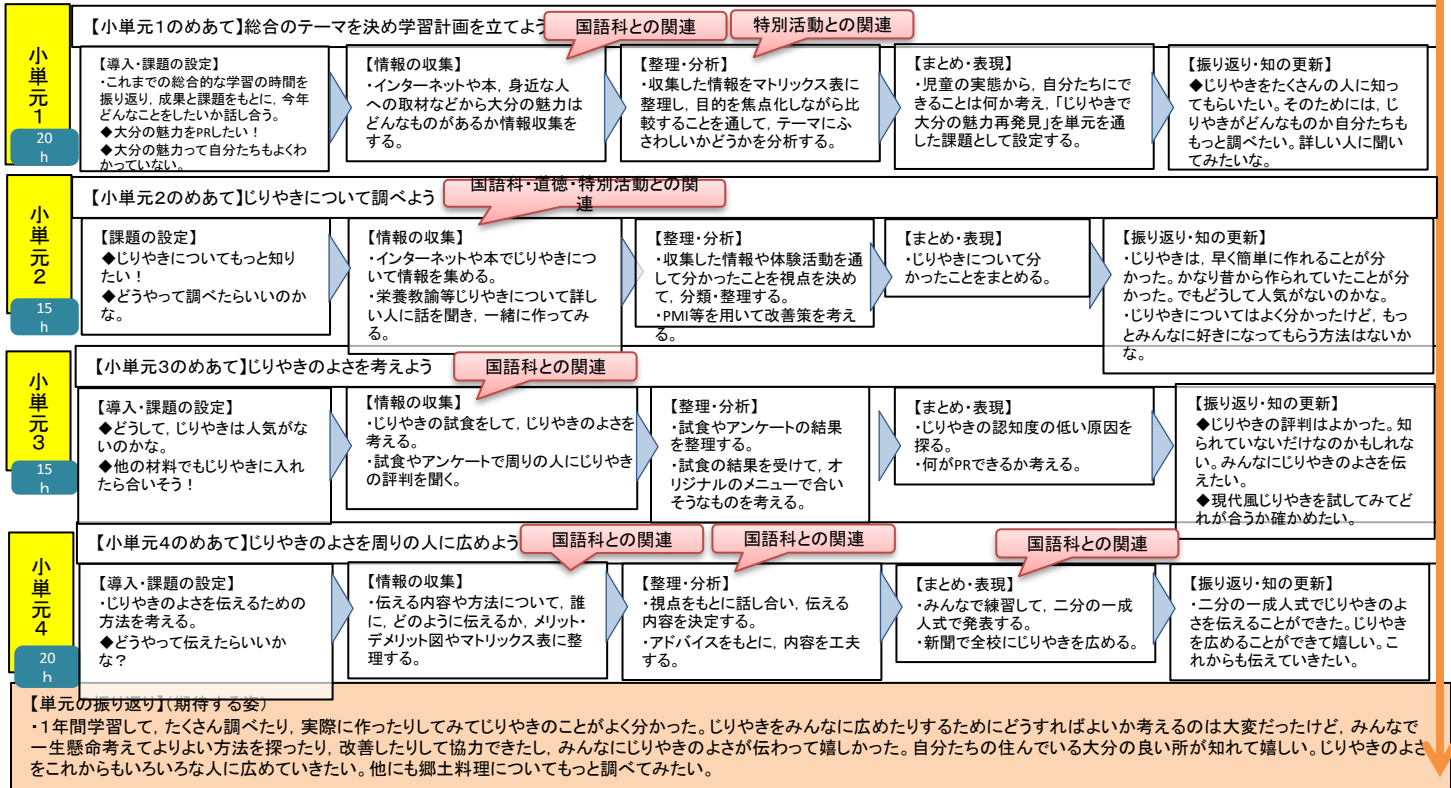
**大分の魅力再発見！  
～郷土料理「じりやき」で、  
大分のイメージアップをしよう～**

# 小学校総合的な学習の時間の単元計画【第4学年3組】

探究課題： 郷土料理「じりやき」づくりの面白さや工夫、郷土料理を残そうとする人々の工夫や願い

単元のねらい： 探究的な見方・考え方を働かせ、じりやきを作ったり、広めたりする活動を通して、友達や地域の方などと関わり合うことの大切さに気付くとともに、郷土料理を残していきたいという思いや地域の良さを大切にしようとする意識を高めることができるようにする

単元のめあて： 大分の魅力再発見！～郷土料理「じりやき」で、大分のイメージアップをしよう～



## 単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい:

探究的な見方・考え方を働かせ、じりやきを作ったり、広めたりする活動を通して、友達や地域の方などと関わり合うことの大切さに気付くとともに、郷土料理を残していきたいという思いや地域の良さを大切にしようとする意識を高めることができるようにする

### 【郷土料理を残していきたいという思いや地域の良さを大切にしようとする意識】

じりやきはすごい！じりやきのことを詳しく知って、さらに好きになった。もっとたくさんの人にじりやきの存在を知ってほしいと思った。

あや先生やはるみ先生に良いところや、作りかたをくわしくしくしめて、もったいないことをしりた。もっとたくさんの人にじりやきのことをしりた。そして、しゅくをしてもらって、たくさんの先生がおいしいとい

りしりなかつたけどじりやきのことについてたくさんしりて大分のきょうどり、うりぞまだしられていないかもしれないからもしあたらほかのきょうどり、うりもしりたいなと思ひました。

### 【郷土料理を残していきたいという思いや地域の良さを大切にしようとする意識】

みんなにじりやきのことを知ってもらえてよかった。自分も最初知らなかったけど、たくさん知れた。大分の郷土料理でまだ知られていないものがあるかもしれないから、他の郷土料理も知りたい。

### 【友達や地域の方などと関わり合うことの大切さ】

調べて、食べて、考えて、また食べて、調べて、考えて...と試行錯誤をして大変だったけど、みんなで協力して最後までがんばったからこそ目標を達成することができた。



### 【友達や地域の方などと関わり合うことの大切さ】

インターネットでは情報が少なくて、あや先生やはるみ先生に教えてもらってじりやきのよさを知ることができた。



③ ぼくは、年間学習... 最初は、何をきめるといいかわからなかったけど、みんなの意見をきいたら、いよいよわかってきた。一人で考えるよりみんなが協力する方がいって、わかってきた。協力の意味がわかってきた。その後、総合がすごく楽しかった。

### 【友達や地域の方などと関わり合うことの大切さ】

問題を解決するために、様々な場面で何度もみんなで話し合っていて考えることができた。

### 【友達や地域の方などと関わり合うことの大切さ】

みんなが真剣に協力して、じりやきを広めようと努力することができた。一人ではできない。チームワークが大切だと感じた。

### 【友達や地域の方などと関わり合うことの大切さ】

みんなで考えるとよくわかってきて、「一人で考えるよりもみんなで考えた方がいい！」と分かって、協力することの大切さがわかって総合がすごく楽しくなってきた。



# 本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名: 大分の魅力再発見! ~郷土料理「じりやき」で、大分のイメージアップをしよう~ (小学校第4学年:70時間)

時期	5月~7月	9月~10月	11月~12月	1月~3月
探究の過程	総合のテーマを決め学習計画を立てよう(20時間)	じりやきについて調べよう(15時間)	じりやきのよさを考えよう(15時間)	じりやきのよさを周りの人に広めよう(20時間)
課題設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの総合的な学習の時間を振り返り、成果と課題をもとに、今年どんなことをしたいか話し合う。</li> <li>◆大分の魅力をPRしたい!</li> <li>◆大分の魅力って自分たちもよくわかっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じりやきを広めるための学習計画をたてる。</li> <li>◆じりやきについてもっと知りたい!</li> <li>◆どうやって調べたらいいのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じりやきのよさを考える。</li> <li>◆どうして、じりやきは人気がないのかな。</li> <li>◆他の材料をじりやきに入れたらおいしくもならない!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じりやきのよさを伝えるための方法を考える。</li> <li>◆どうやって伝えたらいいかな?</li> </ul>
情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットや本、身近な人への取材などから大分の魅力はどんなものがあるか情報収集をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットや本でじりやきについて情報を集める。</li> <li>・栄養教諭等じりやきについて詳しい人に話を聞き、一緒に作ってみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じりやきの試食をして、じりやきのよさを考える。</li> <li>・試食やアンケートで周りの人にじりやきの評判を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝える内容や方法について、だれに、どのように伝えるか、メリット・デメリット図やマトリックス表に整理する。</li> </ul>
整理分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した情報をマトリックス表に整理し、目的を焦点化しながら比較することを通して、テーマにふさわしいかどうかを分析する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した情報や体験活動を通して分かったことを視点を決めて、分類・整理する。</li> <li>・PMI等を用いて改善策を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試食やアンケートの結果を整理する。</li> <li>・試食の結果を受けて、オリジナルのメニューで合いそうなもの考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視点をもとに話し合い、伝える内容を決定する。</li> <li>・アドバイスをもち、内容を工夫する。</li> </ul>
まとめ表現振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>【まとめ・表現】</li> <li>・自分たちができることは何か考え、「じりやきで大分の魅力再発見」を単元を通した課題として設定する。</li> <li>【振り返り・知の更新】</li> <li>◆じりやきをたぐさんの人に知ってもらいたい。そのためには、じりやきがどんなものか自分たちももっと調べたい。詳しい人に聞いてみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【まとめ・表現】</li> <li>・じりやきについて分かったことをまとめる。</li> <li>【振り返り・知の更新】</li> <li>・じりやきは、早く簡単に作れることが分かった。かなり昔から作られていたことが分かった。でもどうして人気がないのかな。</li> <li>・じりやきについてはよく分かったけど、もっとみんなに好きになってもらう方法はないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【まとめ・表現】</li> <li>・じりやきが人気がない原因を探る。</li> <li>・何がPRできるか考える。</li> <li>【振り返り・知の更新】</li> <li>・じりやきの評判はよかった。知られていないだけなのかもしれない。みんなにじりやきのよさを伝えたい。</li> <li>◆現代風じりやきを試してみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【まとめ・表現】</li> <li>・みんなで練習して、二分の一人形式で発表する。</li> <li>・新聞で全校にじりやきを広める。</li> <li>【振り返り・知の更新】</li> <li>・二分の一人形式でじりやきのよさを伝えることができた。じりやきを広めることができて嬉しい。これからも伝えていきたい。</li> </ul>

【国語】「命をつなぐレッドデータブックを作ろう」(読む)  
 ・目的を意識して、中心となる語や分を見つけて要約すること(思・読む)

【国語】「学級新聞を作ろう」(書く)  
 ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること(思・書イ)

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話す・聞く)  
 ・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)  
 ・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

【道徳】「地域を大切にしよう」  
 ・郷土の伝統や文化について考えさせ、それらを尊重し積極的に関わろうとする実践意欲と態度を育てる(伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)

【特活】「おやつを食べ方について考えよう」  
 ・給食の時間を中心としながら、健康に良い食事のとり方など望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくなる(学級活動)

【国語】「くらべて発見しよう」(話す・聞く)  
 ・必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと(思・読む)

「考えるための技法」の活用

# 5年1組

豊後絞りで大分の魅力をPRしよう

# 小学校総合的な学習の時間の単元計画【第5学年1組】

探究課題： 豊後絞りづくりの面白さや工夫、豊後絞りづくりに携わる人々の工夫や願い

単元のねらい： 探究的な見方・考え方を働かせ、豊後絞りづくりに携わる人々に関わる活動を通して、豊後絞りのすばらしさやよさを理解するとともに、課題を自ら見つけ、その解決に向けて集めた情報を考えるための技法を活用しながら考えたり、相手や目的を明確にして内容を焦点化しながら表現したりして、探究の過程に応じた技能を身に付ける。

単元のめあて： 豊後絞りで大分をPRしよう

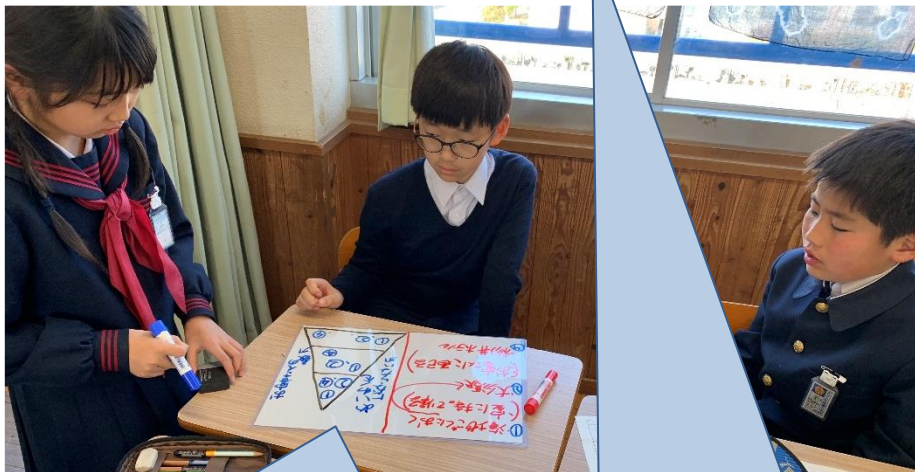
小 単 元 1  15h	【小単元1のめあて】豊後絞りについて知ろう				
	<b>【課題の設定】</b> ・大分をPRすることを目標に設定し、そのために何をj用いるかをイメージマップを使用してアイデアを広げる ・まだ知られていない魅力に焦点をあて、大分駅の写真から豊後絞りに出会う	<b>【情報の収集】</b> ・豊後絞りについて、図書資料やICTを活用して調べる	<b>【整理・分析】</b> ・調べた内容を共有し、豊後絞りが大分発祥の絞り染技法であり、また認知度の低さから、大分の隠れた魅力といえることを確認する。	<b>【まとめ・表現】</b> ・実際に自分たちで豊後絞りを体験し、よさを味わうことで、豊後絞りで大分をPRしたいという思いを深める。	<b>【振り返り・知の更新】</b> ・豊後絞りが大分の魅力だということに自信が持てた。この豊後絞りで大分をPRしていきたい。そのために、どんなものを作るかなどを決めていきたい。
小 単 元 2  25h	【小単元2のめあて】豊後絞りの製品を開発しよう				
	<b>【課題の設定】</b> ・豊後絞りの製品を完成させるために「対象・製品・販売方法・場所・予算」等を決めていく必要があることを整理し、学習計画を立てる。	<b>【情報の収集】</b> ・図書資料やICT等を活用し「対象・製品・販売方法・場所・予算」等を決定するために必要な情報を調べる。	<b>【整理・分析】</b> ・調べた内容をメリット・デメリット図やマトリックス等に整理し、「対象・製品・販売方法・場所・予算」等について話し合う。	<b>【まとめ・表現】</b> ・「対象・製品・販売方法・場所・予算」等について決まったことを確認する。	<b>【振り返り・知の更新】</b> ・豊後絞りでハンカチを作ることに決まった。これからPRに向けて、販売場所の候補の海地獄の方をお願いをしたり、製品をたくさん作ったりしていきたい。
小 単 元 3  30h	【小単元3のめあて】豊後絞りで大分をPRしよう				
	<b>【課題の設定】</b> ・豊後絞りでハンカチを作成し、大分をPRするためにどんな学習をしていく必要があるか、計画を振り返り、活動の見直しをもつ。	<b>【情報の収集】</b> ・PR活動の計画について、先生方や上級生へインタビューをしてアドバイスをもらう。	<b>【整理・分析】</b> ・アドバイスをもとに、PR活動の計画を練り直す。	<b>【まとめ・表現】</b> ・豊後絞りハンカチを販売し、PR活動を行う ・アンケートをもとに、自分たちの活動の意義を振り返る。	<b>【振り返り・知の更新】</b> ・たくさんの方が豊後絞りハンカチを買ってくれて嬉しかった。大分の魅力を伝えることができたと思う。対象だった県外の方だけでなく、大分の人にも喜んでもらえたことがよかった。

【単元の振り返り】(期待する姿)豊後絞りについて学習してきて、自分も豊後絞りのことが大好きになった。豊後遊草会の方がどうして普及活動を続けているのか、気持ちがわかった。自分たちは対象を県外から来た観光客の人に設定したけど、大分の人にも豊後絞りのことを知ってもらい、そのよさを伝えることができて嬉しかった。

## 単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

探究的な見方・考え方を働かせ、豊後絞りづくりに携わる人々に関わる活動を通して、豊後絞りのすばらしさやよさを理解するとともに、課題を自ら見つけ、その解決に向けて集めた情報を考えるための技法を活用しながら考えたり、相手や目的を明確にして内容を焦点化しながら表現したりして、探求の過程に応じた技能を身に付ける。

単元のねらい:



**【豊後絞りづくりに携わる人々に関わる活動を通して、豊後絞りのすばらしさやよさを理解する】**

安藤先生から伝わった思いは、少しでも多くの人に豊後絞りや温泉絞りを知ってもらいたい、好きになってほしいということだと思ふ。その思いを活かす(PR活動につなげる)ためには、(私たちが)もっとたくさん豊後絞りや温泉絞りを知り、好きになることが大切だと思ふ。

がとうございました。  
 温泉しぼりの良い所は  
 度で色が変わる所です。  
 温泉の質で色が変わる  
 はインターネットで調べて  
 たことだったけど、今日実  
 ってみて本当に色が変わ  
 びっくりしたし、すごいな  
 と思いました。安藤先生  
 からは、少しでも多くの人  
 へ絞りや温泉しぼりを知  
 りてほしいということ  
 だと思ひます。その思い  
 を活かすためには、もっ  
 とたくさん豊後しぼり  
 や温泉しぼりを知り、好  
 きになることが大切だ  
 と思ひます。結真

**【考えるための技法を活用しながら考える】**

課題を解決するためにどのような考え方をすればよいか班で話し合い、それぞれで使用する思考ツールを決めて話し合いを進めた

## 本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力(例)

単元名： 豊後紋りで大分の魅力をPRしよう

時期	4月～7月	9月～12月	1月～3月	
探究の過程	豊後紋りについて知ろう (15時間)	豊後紋りの製品を開発しよう (25時間)	豊後紋りで大分をPRしよう (30時間)	
課題設定	・大分をPRすることを目標に設定し、そのために何を用いるかをイメージマップを使用してアイデアを広げる ・まだ知られていない魅力に焦点をあて、大分駅の写真から豊後紋りに出会う	・豊後紋りの製品を完成させるために「対象・製品・販売方法・場所・予算」等を決めていく必要があることを整理し、学習計画をたてる。	・豊後紋りでハンカチを作成し、大分をPRするためにどんな学習をしていく必要があるか、計画を振り返り、活動の見直しをもつ。	【国語】「意見こうかん会をしよう(調べたことやまとめたことについて討論などをすること)」 ・互いの立場や意図をはっきりさせながら、ルールに沿って、話し合っている。 【A-オ】 ・話し手の意図をとらえながら聞き、自分の比較しながら考えをまとめている。 【A-エ】
情報収集	・豊後紋りについて、図書資料やICTを活用して調べる	・図書資料やICT等を活用し「対象・製品・販売方法・場所・予算」等を決定するために必要な情報を調べる。	・調べた内容をメリット・デメリット図やマトリックス等に整理し、「対象・製品・販売方法・場所・予算」等について話し合う。	【国語】「要約伝言ゲームをしよう(事物について簡潔に説明したり、聞いたりすること)」(話す・聞く) ・相手の話の内容について自分の考えと比べ、共通点や相違点、関連して考えたことなどをまとめている。【A-エ】
整理分析	・調べた内容を共有し、豊後紋りが大分発祥の紋り染技法であり、また認知度の低さから、大分の隠れた魅力といえることを確認する。	・調べた内容をメリット・デメリット図やマトリックス等に整理し、「対象・製品・販売方法・場所・予算」等について話し合う。	・アドバイスをもとに、PR活動の計画を練り直す。	「考えるための技法」の活用
まとめ表現振り返り	・実際に自分たちで豊後紋りを体験し、よさを味わうことで、豊後紋りで大分をPRしたいという思いを深める。	・「対象・製品・販売方法・場所・予算」等について決まったことを確認する。	・豊後紋りハンカチを販売し、PR活動を行う ・アンケートをもとに、自分たちの活動の意義を振り返る。	【図工】「伝えたい思いや気持ち」 ・身近な場所のよさや楽しさを伝える形や色、材料の使い方や作り方を考えている(発) ・プレートに表す意図や用途、置く場所に合わせて、形や色、飾り、材料の合わせ方などを工夫している(技)
	【国語】「四年生に五年生の活動の報告をしよう(経験したことを報告する文章を書くこと)」 ・自分の考えを明確に表現するため、文章全体の効果を考えて書いている。【B-イ】 ・意見と事実や事例などを区別し、簡単に書いたり、詳しく書いたりしている。【B-ウ】	【国語】「解説書で金子みすゞのかくれた名作を推薦しよう(同一作家の本や作家を紹介する文章を読んで推薦の文章を書くこと)」 ・金子みすゞ作品の解説を書き比べたり、それらを友達と交流したりしながら自分の考えを広げたり、深めたりしている。【C-オ】 ・最も好きな金子みすゞの作品を推薦するために複数の金子みすゞ作品を読み比べている。【C-カ】 ・金子みすゞ作品を推薦するために、筆者の書きぶりや作品の言葉を引用したり、用いたりしながら自分の考えが伝わるように書いている。【B-エ】	【国語】「〇〇のおもしろさの秘密を紹介しよう(自分の課題を解決するために意見を述べた文章や解説の文章などを読み、資料を提示しながら説明や報告をすること)」 ・あるテーマについて、複数の本や文章を比べ読み、速読、摘読、多読など効果的な読み方をしている。【C-イ】 ・自分の考えと複数の本や文章、友だちの考えと比べることを通して、自分の考えを広げたり、深めたりしようとしている。【C-オ】	

# 5年2組

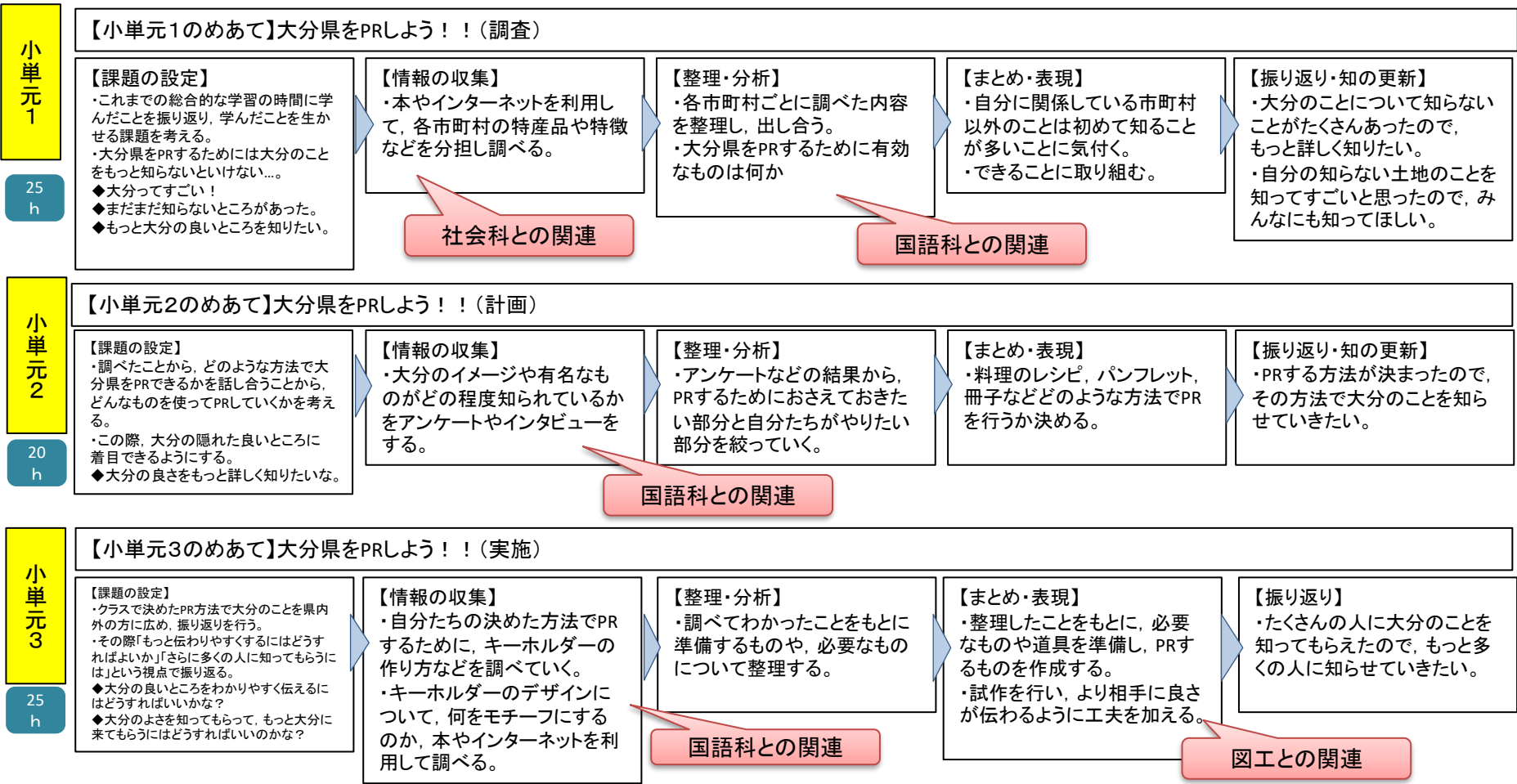
大分県をPRしよう！

# 小学校総合的な学習の時間の単元計画【第 5 学年 2 組】

探究課題： 自分の住んでいる地域の特色や、そこで暮らす人々の工夫や思い

単元のねらい： 探究的な見方・考え方を働かせ、大分県の各市町村のことを調べたり、調べたことを発表したりする活動を通して、自分の住んでいる地域の特色やそこに暮らす人々の思いを気づき、地域に対する愛着を高めることができる。

単元のめあて： 大分県をPRしよう！！



【単元の振り返り】(期待する姿)  
 ・1年間学習して自分が知らない大分の魅力が知れてよかった。多くのいいところが見つけれられたし、それぞれの土地に特徴についても知れたので、これからももっと継続して調べていきたい。たくさんの特産物があることが知れたので来年はさらにそれらを発展させていろいろなところに発信していきたい。

# 単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

**単元のねらい:** 探究的な見方・考え方を働かせ、大分県の各市町村のことを調べたり、調べたことを発表したりする活動を通して、自分の住んでいる地域の特色やそこに暮らす人々の思いを気付き、地域に対する愛着を高めることができる。

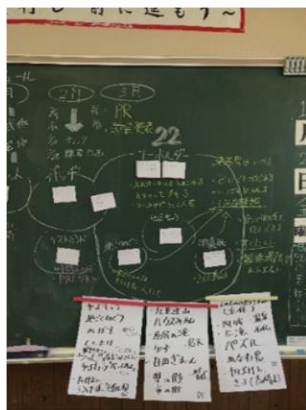
ふりがえり  
私はこの一年間を通して、いろいろな事に興味をもつことができました。...大分はあまり良いものがないと思っていたけど、いっぱいすごいところがあっておどろきました。

## 【地域に対する愛着】

はじめ、大分県でもかぼす・とり天というくらいしか知りませんでした。調べようってなった時もそんなにいい所はないだろうと思っていました。けれど、そんなことはなく滝や私の知らない観光地などがたくさんありおどろきました。...もったいい所があると思うので、休校中にも時間があったら調べてみたいです。

## 【地域に対する愛着】

私はこの一年間を通して、いろいろな事に興味をもつことができました。...大分はあまり良いものがないと思っていたけど、いっぱいすごいところがあっておどろきました。



## 【調べたことを発表する活動】

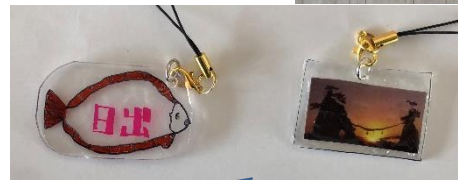
発表する力が身につきました。人前で発表するのが、嫌いでめんどくさいと思っていました。けれど、フリートーク形式で話し合いをすればするほどもったいいことが思いつけるということがわかりました。

ふりがえり  
私は、初めて大分県でもかぼす・とり天というくらいしか知りませんでした。調べようってなった時もそんなにいい所はないだろうと思っていました。けれど、そんなことはなく滝や私の知らない観光地などがたくさんありおどろきました。...もったいい所があると思うので、休校中にも時間があったら調べてみたいです。

私は、この一年間を通して、いろいろな事に興味をもつことができました。...大分はあまり良いものがないと思っていたけど、いっぱいすごいところがあっておどろきました。



Handwritten notes on a grid paper, likely a student's reflection or research notes.



## 【地域の特色やそこに暮らす人々の思い】

総合の学習で学び、身につけた力は、「たくさんの人とつながる」ことでした。大分の魅力をPRするためには、たくさんの方の努力や工夫、作った物に対する思いをつなげることが必要だったからです。





# 本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 大分県をPRしよう！！(小学校第5学年:70時間)

時期	5月～7月	9月～12月	1月～3月
探究の過程	大分県をPRしよう！！ 【調査】 (25時間)	大分県をPRしよう！！ 【計画】 (20時間)	大分県をPRしよう！！ 【実施】 (25時間)
課題設定	【体験活動】 ・これまでの総合的な学習の時間に学んだことを振り返り、学んだことを生かせる課題を考える。 ・大分県をPRするためには大分のことをもっと知らないといけない...。 【課題の設定】 ◆大分ってすごい！ ◆まだまだ知らないところがあった。 ◆もっと大分の良いところを知りたい。	【課題の設定】 ・調べたことから、どのような方法で大分県をPRできるかを話し合うことから、どんなものを使ってPRしていくかを考える。 ・この際、大分の隠れた良いところに着目できるようにする。 ◆大分の良さをもっと詳しく知りたいな。	【課題の設定】 ・クラスで決めたPR方法で大分のことを県内外の方に広め、振り返りを行う。 ・その際「もっと伝わりやすくするにはどうすればよいか」「さらに多くの人に知ってもらうには」という視点で振り返る。 ◆大分の良いところをわかりやすく伝えるにはどうすればいいかな？ ◆大分のよさを知ってもらって、もっと大分に来てもらうにはどうすればいいのかな？
情報収集	・本やインターネットを利用して、各市町村の特産品や特徴などを分担し調べる。	【情報の収集】 ・大分のイメージや有名なものがどの程度知られているかをアンケートやインタビューをする。	【情報の収集】 ・自分たちの決めた方法でPRするために、キーホルダーの作り方を調べていく。 ・キーホルダーのデザインについて、何をモチーフにするのか、本やインターネットを利用して調べる。
整理分析	・各市町村ごとに調べた内容を整理し、出し合う。 ・大分県をPRするために有効なものは何か	・アンケートなどの結果から、PRするためにおさえおきたい部分と自分たちがやりたい部分を絞っていく。	・調べてわかったことをもとに準備するものや、必要なものについて整理する。
まとめ表現振り返り	【まとめ・表現】 ・自分に関係している市町村以外のことは初めて知ることが多いことに気付く。 ・できることに取り組む。 【振り返り・知の更新】 ・大分のことについて知らないことがたくさんあったので、もっと詳しく知りたい。 ・自分の知らない土地のことを知ってすごいと思ったので、みんなにも知ってほしい。	【まとめ・表現】 ・料理のレシピ、パンフレット、冊子などのような方法でPRを行うか決める。 【振り返り・知の更新】 ・PRする方法が決まったので、その方法で大分のことを知らせていきたい。	【まとめ・表現】 ・整理したことをもとに、必要なものや道具を準備しPRするものを作成する。 ・試作を行い、より相手に良さが伝わるように工夫を加える。 【振り返り】 ・たくさんの人に大分のことを知ってもらえたので、もっと多くの人に知らせていきたい。

【国語】「白山山地からの提言意見文を書こう」(書く)

・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。(思・書工)

【図工】伝え合いたい思いや気持ち

・対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。(知・技)

・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ったり、つないだり、形を変えたりするなどして、工夫して作ること(技)

【国語】「ひみつを調べて発表しよう」(話す・聞く)

・収集した知識や情報のメモやノートの内容を比較・対照したり、分類したりして、提示する内容を選んでいる。(思・話聞ア)

・説明や報告をする事柄が明確に伝わるように、事実と感想、意見とを区別したり、必要な文言や数値などを引用したり、図解したりして構成を考えている。(思・話聞イ)

「考えるための技法」の活用

【国語】「気になる記事を情報ノートで紹介し合う」(読む)  
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること(思・読ウ)

【社会】「県の人々のくらし」(3年・既習)  
・地図や資料を活用したり、インターネットを活用したりして、県(都、道、附)の様子について必要な情報を集め、読み取り、調べたことを作品などにまとめている。(技)

【国語】「ひみつを調べて発表しよう」(話す・聞く)  
・本や資料を用いたり、インタビューやアンケートを行ったりして調べ、自分の考えを根拠づけたり、より幅広い視点から考えを見直して意見をまとめたりしている。(話聞・ア)



# 5年3組

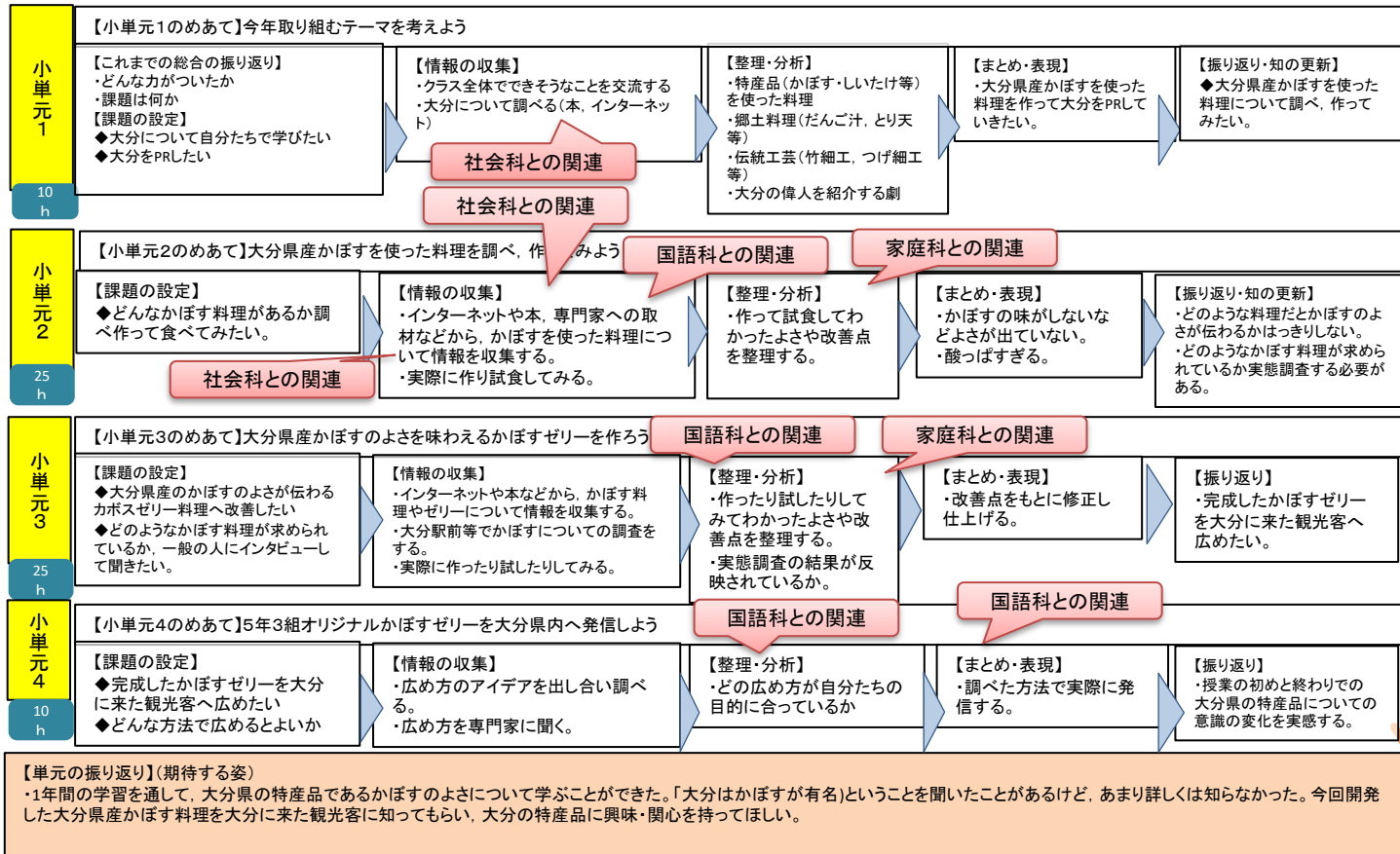
大分県産かぼすを使った料理を作って大分をPRしよう

# 小学校総合的な学習の時間の単元計画【第5学年3組】

探究課題: 大分県産かぼすの有用性, かぼすに携わる人々の工夫や願い

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ, 大分県産かぼすを使った料理を試したり開発したりする活動を通して, 大分県産かぼすなど地元の特産品への興味・関心を高めることができる。

単元のめあて: 大分県産かぼすを使った料理を作って大分をPRしよう



単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい:  
関心:

探究的な見方・考え方を働かせ、大分県産かぼすを使った料理を試したり開発したりする活動を通して、大分県産かぼすなど地元の特産品への興味・関心を高めることができる。

ふりかえり  
自分たちの班で作ったカボスゼリーは少しす。はかたのでも少し果汁を少なくして、作りたいです。れいぞうこから出した時に、たくさん皿にこぼれていたの、かいぜんできたらかいぜんしたいです。

【大分県産かぼすを使った料理を試したり開発したりする】

少しすばかったので、もう少し果汁を少なくして作りたいです。たくさん皿にこぼれていたの、かいぜんできたらかいぜんしたいです。



【大分県産かぼすを使った料理を試したり開発したりする】

トッピングするゼリーはかための方が見た目がきれいで、やわらかめの方が食感がよかったです。どっちにするか給食室の先生に食べてもらって意見を聞きたいです。

ふりかえり  
カボスゼリーを作ることになりました。それにかぼすのことも知れたのでよかったです。家でシャーベットを作りました。とてもおもしろかったです。

【大分県産かぼすへの興味・関心】

かぼすのことを知れてよかったです。家でもシャーベットを作りました。とてもおもしろかったです。

2月20日 司会レシビと作る様子  
(学習発表会をふり返って)  
私は全体的によかったと思います。みんな役割分担をした通りに動いていて、きんちゅうはあったけどりハーサルと同じように出来たのでよかったです。これからもかぼすについて調べたり、いろんな人にPRしていきたいと思っています。



【大分県産かぼすへの興味・関心】

これからもかぼすについて調べたり、いろんな人にPRしていきたいと思っています。

# 本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 大分県産かぼすを使った料理を作って大分をPRしよう(小学校第5学年:70時間)

時期	5月～7月	9月～10月	11月～12月	1月～3月
探究の過程	今年取り組むテーマを考えよう(時間)	大分県産かぼすを使った料理を調べ、作ってみよう(時間)	大分県産かぼすのよさを味わえるかぼすゼリーを作ろう(時間)	5年3組オリジナルかぼすゼリーを大分県内へ発信しよう(時間)
課題設定	【これまでの総合の振り返り】 ・どんな力がついたか ・課題は何か 【課題の設定】 ◆大分について自分たちで学びたい ◆大分をPRしたい	【課題の設定】 ◆どんなかぼす料理があるか調べて作って食べてみたい。	【課題の設定】 ◆大分県産のかぼすのよさが伝わるかぼすゼリー料理へ改善したい ◆どのようなかぼす料理が求められているか、一般の人にインタビューして聞きたい。	【課題の設定】 ◆完成したかぼすゼリーを大分にきた観光客へ広めたい ◆どんな方法で広めるといいか
情報収集	【情報の収集】 ・クラス全体でできそうなことを交流する ・大分について調べる(本、インターネット)	【情報の収集】 ・インターネットや本、専門家への取材などから、かぼすを使った料理について情報を収集する。 ・実際に作り試食してみる。	【情報の収集】 ・インターネットや本などから、かぼす料理やゼリーについて情報を収集する。 ・大分駅前等でかぼすについての調査をする。 ・実際に作ったり試したりしてみる。	【情報の収集】 ・広め方のアイデアを出し合い調べる。 ・広め方を専門家に聞く。
整理分析	【整理・分析】 ・特産品(かぼす・しいたけ等)を使った料理 ・郷土料理(だんご汁、とり天等) ・伝統工芸(竹細工、つげ細工等) ・大分の偉人を紹介する劇	【整理・分析】 ・作って試食してわかったよさや改善点を整理する。	【整理・分析】 ・作ったり試したりしてみえたよさや改善点を整理する。 ・実態調査の結果が反映されているか。	【整理・分析】 ・どの広め方が自分たちの目的に合っているか
まとめ表現振り返り	【まとめ・表現】 ・大分県産かぼすを使った料理を作って大分をPRしていきたい。 【振り返り・知の更新】 ◆大分県産かぼすを使った料理について調べ、作ってみたい。	【まとめ・表現】 ・かぼすの味がしないなどよさが出ていない。 ・酸っぱすぎる。 【振り返り・知の更新】 ・どのような料理だとかぼすのよさが伝わるかよきりしない。 ・どのようなかぼす料理が求められているか実態調査する必要がある。	【まとめ・表現】 ・改善点をもとに修正仕上げる。 【振り返り】 ・完成したかぼすゼリーを大分にきた観光客へ広めたい	【まとめ・表現】 ・調べた方法で実際に発信する。 【振り返り】 ・授業の始めと終わりでの大分県の特産品についての意識の変化を実感する。

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話す・聞く)  
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)  
・相手に伝えるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

【社会】「地形や気候を生かして」(4年・既習)  
・大分県の人々が地形や気候の特徴を生かして特産物を作っていることを考えることができるようにする。(思・判・表)

【国語】「学級新聞を作ろう」(書く)  
・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること(思・書イ)

【国語】「四年生に五年生の活動の報告をしよう」(書く)  
・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。(思考力・判断力・表現力Bア)  
・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(思考力・判断力・表現力Bエ)

【国語】「クラブ活動を紹介するポスターを作ろう」(書く)  
・見出しや図表など様々な構成を理解し書いている。【伝聞イ(キ)】

【家庭科】「はじめてみようクッキング」  
・材料や目的に応じたゆで方ができる。(技能)

# 6年1組

大分県のPR

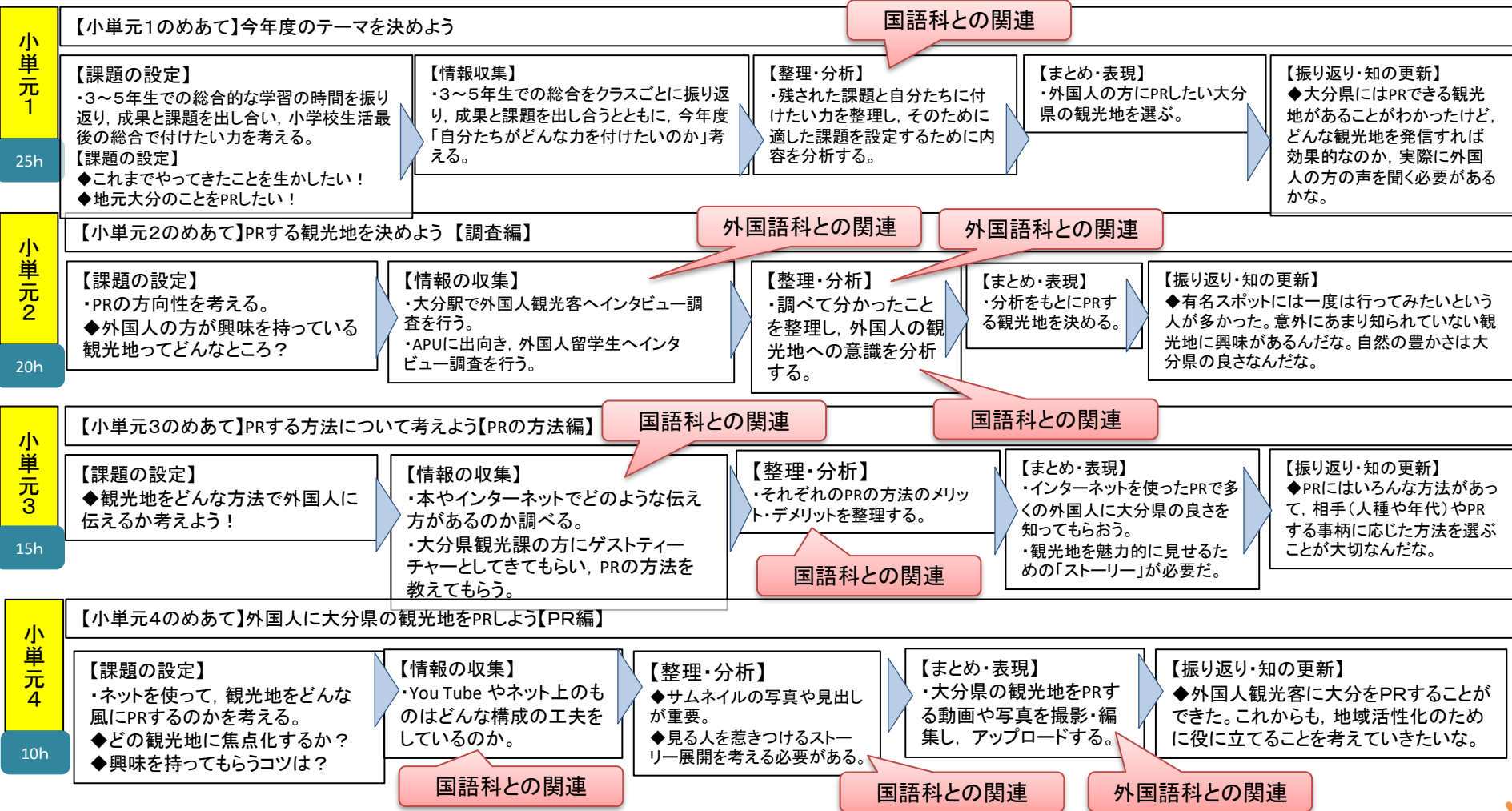
～外国人観光客を増やし魅力度  
ランキングを上げよう～

# 小学校総合的な学習の時間の単元計画【第6学年1組】

探究課題: 町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、外国人観光客に来県してもらうための情報発信をすることを通して、外国人や地域の方などに関わる良さにふれながら、地域の特色への理解を深めることで、地域の活性化のために行動できるようにする。

単元のめあて: 大分県のPR ～外国人観光客を増やし魅力度ランキングを上げよう～



【単元の振り返り】(期待する姿)

・外国人の方に興味を持ってもらうために大分県の観光地について調べたけど、自分自身が知らない観光地の魅力を知ることができた。自分が住んでいる大分県の魅力について、これからも調べてみたい。 人を惹きつける情報の発信の仕方が分かったので、他のことにも応用してみたい。 など

# 単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、外国人観光客に来県してもらうための情報発信をすることを通して、外国人や地域の方などに関わる良さにふれながら外国や自分の地域の特色への理解を深めることで、地域の活性化のために行動できるようにする。



**【外国人や地域の方などに関わる良さ】**  
 (観光地の人気調査を終えて)外国語やグローバルタイムの力が発揮できてよかった。これからいろいろな人と交流できるようにしたい。

調べができてよかったです。外国語の時間やグローバルタイムのときの力が発揮できてよかったです。これからもいろいろな人と交流できるようにしたいです。

いっばい話しかけにくかったけど、みんなやさしく対応してくれてうれしかったです。またこういう機会があれば、今日みたいにしゃべりたい。

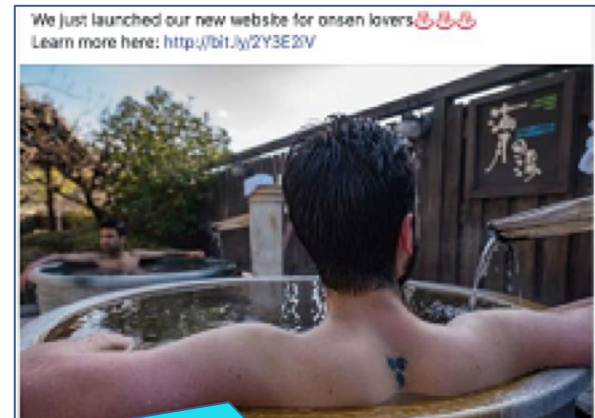


**【外国人や地域の方などに関わる良さ】**  
 (観光地の人気調査を終えて)みんな優しく対応してくれて嬉しかった。また機会があったら今日みたいに喋れたらいい。

④ 稻積の人数が少なくて、逆に、福沢諭吉資料館が人気な人。それに聞いたら、そのことではなく福沢諭吉そのものを紹介すればよかったのではと思いました。

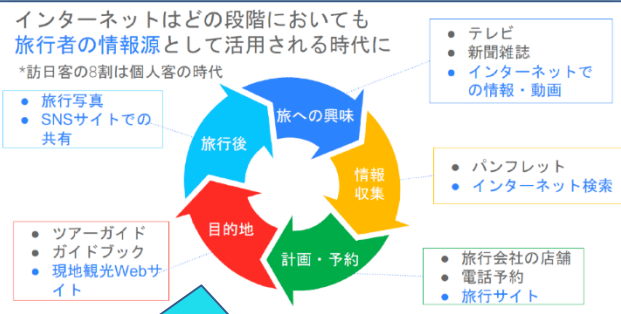
**【外国や地域の特色への理解】**  
 (調査結果を振り返って)人気のない観光地も、もっと違う情報を伝えることで外国人に魅力を感じてもらえるんじゃないかな。

⑤ いろんなことを工藤さんがしていたので、お水もよくうまかった。水道の水かのみものになることをPRできることがすごかったです。



**【外国や地域の特色への理解】**  
 インパクトのある写真と短い文章が、見る人に魅力を伝えるためのポイントだとわかった。

**【地域の特色への理解】**  
 (観光局の方から、誘致に関する話を聞いて)外国と比較すると、水道水がそのまま飲めることも特色になるとは、知らなかった。



**【外国や地域の特色への理解】**  
 (PR方法の吟味を通して)インターネットを使って、向こうから興味があって見たりした方が、相手も無理がなく、効果があるのでは? PRされる側の人のことを考えてPRできるといいなと思う。



# 本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 大分県のPR ～外国人観光客を増やし魅力度ランキングを上げよう～(小学校第6学年:70時間)

時期	5月～7月	9月～10月	11月～12月	1月～3月
探究の過程	今年度のテーマを決めよう (25時間)	PRする観光地を決めよう 【調査編】 (20時間)	PRする方法について考えよう 【PRの方法編】 (15時間)	外国人に大分県の観光地をPRしよう【PR編】 (10時間)
課題設定	【課題の設定】 ・3～5年生での総合的な学習の時間を振り返り、成果と課題を出し合い、小学校生活最後の総合で付けたい力を考える。 【課題の設定】 ◆これまでやってきたことを生かしたい！ ◆地元大分のことをPRしたい！	【課題の設定】 ・PRの方向性を考える。 ◆外国人の方が興味を持っている観光地ってどんなところ？	【課題の設定】 ◆観光地をどんな方法で外国人に伝えるか考えよう！	【課題の設定】 ・ネットを使って、観光地をどんな風にPRするのかを考える。 ◆どの観光地に焦点化するのか？ ◆興味を持ってもらうコツは？
情報収集	【情報収集】 ・3～5年生での総合をクラスごとに振り返り、成果と課題を出し合うとともに、今年度「自分たちがどんな力を付けたいのか」を考える。	【情報の収集】 ・大分駅で外国人観光客へインタビュー調査を行う。 ・APUに出向き、外国人留学生へインタビュー調査を行う。	【情報の収集】 ・本やインターネットでどのような伝え方があるのか調べる。 ・大分県観光課の方にゲストティーチャーとしてきてもらい、PRの方法を教えてください。	【情報の収集】 ・YouTube やネット上のものはどんな構成の工夫をしているのか。
整理分析	【整理・分析】 ・残された課題と自分たちに付けたい力を整理し、そのために適した課題を設定するために内容を分析する。	【整理・分析】 ・調べて分かったことを整理し、外国人の観光地への意識を分析する。	【整理・分析】 ・それぞれのPRの方法のメリット・デメリットを整理する。	【整理・分析】 ◆サムネイルの写真や見出しが重要。 ◆見る人を惹きつけるストーリー展開を考える必要がある。
まとめ表現振り返り	【まとめ・表現】 ・外国人の方にPRしたい大分県の観光地を選ぶ。 【振り返り・知の更新】 ◆大分県にはPRできる観光地があることがわかったけど、どんな観光地を発信すれば効果的なのか、実際に外国人の方の声を聞く必要があるかな。	【まとめ・表現】 ・分析をもとにPRする観光地を決める。 【振り返り・知の更新】 ◆有名スポットには一度は行ってみたいという人が多かった。意外にあまり知られていない観光地に興味があるんだな。自然の豊かさは大分県の良さなんだな。	【まとめ・表現】 ・インターネットを使ったPRで多くの外国人に大分県の良さを知ってもらおう。 ・観光地を魅力的に見せるための「ストーリー」が必要だ。 【振り返り・知の更新】 ◆PRにはいろいろな方法があって、相手(人種や年代)やPRする事柄に応じた方法を選ぶことが大切なんだな。	【まとめ・表現】 ・大分県の観光地をPRする動画や写真を撮影・編集し、アップロードする。 【振り返り・知の更新】 ◆外国人観光客に大分をPRすることができた。これからも、地域活性化のために役に立てることを考えていきたいな。

「考えるための技法」の活用

【国語】「修学旅行の学びをスポンサーに報告文で知らせよう」(読む)  
・文章全体の構成や書き出しなどに着目して、文や文章を整えている(思・B-オ)

【外国語】「I like my town.」(話すこと[や])  
・地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさなどを聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)  
・地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。(思考力、判断力、表現力等)  
・他者に配慮しながら、地域のよさなどについて伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

【国語】「保存食辞典を作って保存食のなるほど！を伝えよう」(読む)  
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたんにすること。(思・C-ウ)

# 6年2組

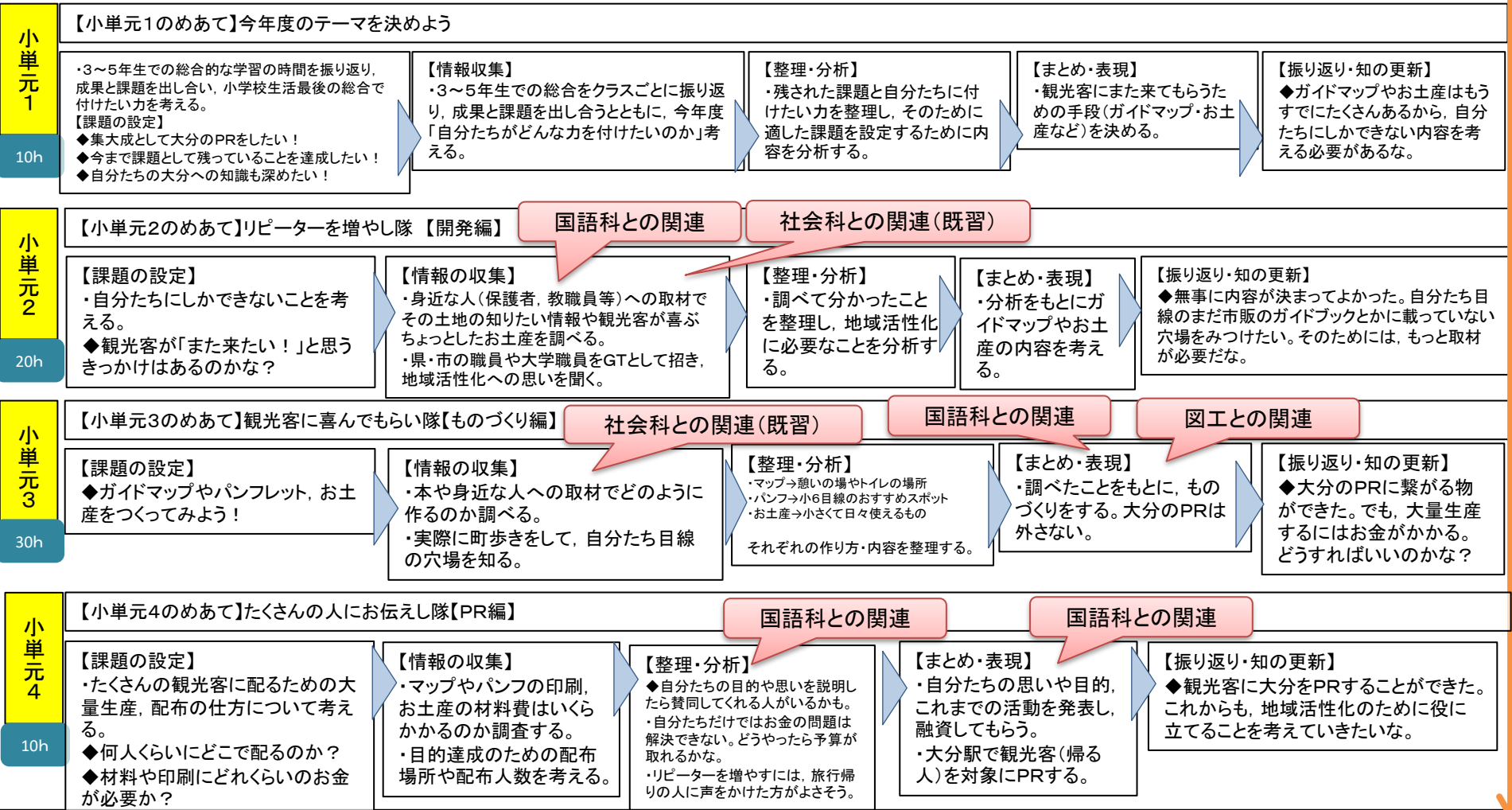
おおいたPR大作戦  
～観光客のリピーターを増やそう～

# 小学校総合的な学習の時間の単元計画【第6学年2組】

探究課題: 町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、観光客に何度も来県してもらうためのきっかけ作りをすることを通して、町づくりの大切さや大変さを体感し、友だちや地域の方などと関わり合いながら地域活性化のために行動できるようにする。

単元のめあて: 大分PR大作戦 ～観光客のリピーターを増やそう～



【単元の振り返り】(期待する姿)  
・分からないことはとことん調べたりいろんな人に聞いたりして解決してきた。何回も失敗して苦労したけど、そのたびにみんなで原因をさぐって改善し、協力してうまくできた時や、観光客が熱心に話を聞いてくれた時にはとてもうれしかった。自分たちでできたという達成感があった。助けてくれた人たちに感謝の気持ちを伝えたい。 など

# 本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 大分PR大作戦 ～観光客のリピーターを増やそう～（小学校第6学年：70時間）

時期	5月～6月	6月～10月	11月～12月	1月～3月
探究の過程	今年度のテーマを決めよう (10時間)	リピーターを増やし隊 【開発編】 (20時間)	観光客に喜んでもらい隊 【ものづくり編】 (30時間)	たくさんの人にお伝えし隊 【PR編】 (10時間)
課題設定	3～5年生での総合的な学習の時間を振り返り、成果と課題を出し合い、小学校生活最後の総合で付けたい力を考える。 ◆集大成として大分のPRをしたい！ ◆今まで課題として残っていることを達成したい！ ◆自分たちの大分への知識も深めたい！	・自分たちにしかできないことを考える。 ◆観光客が「また来たい！」と思うきっかけはあるのかな？	◆ガイドマップやパンフレット、お土産をつくってみよう！	・たくさん観光客に配るための大量生産、配布の仕方について考える。 ◆何人くらいどこで配るのか？ ◆材料や印刷にどれくらいのお金が必要か？
情報収集	・3～5年生での総合をクラスごとに振り返り、成果と課題を出し合うとともに、今年度「自分たちがどんな力を付けたいのか」考える。	・身近な人(保護者、教職員等)への取材でその土地の知りたい情報や観光客が喜ぶちよとしたお土産を調べる。 ・県・市の職員や大学職員をCTとして招き、地域活性化の思いを聞く。	・本や身近な人への取材でどのように作るのか調べる。 ・実際に町歩きをして、自分たち目線の穴場を知る。	・マップやパンフの印刷、お土産の材料費はいくらかかるのか調査する。 ・目的達成のための配布場所や配布人数について経験のある人に聞き情報を得る。
整理分析	・残された課題と自分たちに付けたい力を整理し、そのために適した課題を設定するために内容を分析する。	・調べて分かったことを整理し、地域活性化に必要なことを分析する。	・マップ→憩いの場やトイレの場所 ・パンフ→小6目線のおすすめスポット ・お土産→小さくて日々使えるもの  それぞれの作り方・内容を整理する。	◆自分たちの目的や思いを説明したら賛同してくれる人がいるかも。 ・自分たちだけではお金の問題は解決できない。どうやったら予算が取れるかな。 ・リピーターを増やすには、旅行帰りの人に声をかけた方がよさそう。
まとめ表現振り返り	【まとめ・表現】 ・観光客にまた来てもらうための手段(ガイドマップ・お土産など)を決める。 【振り返り・知の更新】 ◆ガイドマップやお土産はもうすでにたくさんあるから、自分たちにしかできない内容を考える必要があるな。	【まとめ・表現】 ・分析をもとにガイドマップやお土産の内容を考える。 【振り返り・知の更新】 ◆無事に内容が決まってよかった。自分たち目線のまだ市販のガイドブックとかに載っていない穴場をみつけない。そのためには、もっと取材が必要だな。	【まとめ・表現】 ・調べたことをもとに、ものづくりをする。大分のPRは外さない。 【振り返り・知の更新】 ◆大分のPRに繋がる物ができた。でも、大量生産するにはお金がかかる。どうすればいいのかな？	【まとめ・表現】 ・自分たちの思いや目的、これまでの活動を発表し、融資してもらおう。 ・大分駅で観光客(帰る人)を対象にPRする。 【振り返り・知の更新】 ◆観光客に大分をPRすることができた。これからも、地域活性化のために役に立てることを考えていきたいな。

【国語】「あいさつ・掃除・履き物そろえの取り組み方をグループで話し合おう」(話す・聞く)

・考えた事や伝えたい事などから話題を決め、収集した知識や情報を関連付けること。(話すこと・聞くことア)

・話し手の意図を捉えてながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。(話すこと・聞くことエ)

【図工】「ドリームプラン」  
・表したいイメージに合わせて、表すものの形や色、材料の扱い方や表し方を工夫している(技)

【国語】「パネルディスカッションで6年生として学校に何が残せるか考えを深めよう」(話す・聞く)

・目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。(話すこと・聞くことイ)

・互いの立場や意図はつきりさせながら、計画的に話し合うこと(話す・聞くオ)

【国語】「6年生の決意を引用しながらスピーチしよう」(話す・聞く)  
・目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。(話すこと・聞くことイ)

【国語】「修学旅行の学びを報告文で知らせよう」(書く)  
・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。(書くことエ)

【国語】「1年生紹介パンフレットで1年生のおうちの方に成長を知らせよう」(書く)  
・目的や意図に応じて書くことを選び全体を見通して事柄を整理すること(書くことア)  
・事実と感想、意見などを区別するとともに目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。(書くことウ)

# 単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、観光客に何度も来県してもらうためのきっかけ作りをすることを通して、町づくりの大切さや大変さを体感し、友だちや地域の方などと関わり合いながら地域活性化のために行動できるようにする。



## 【町づくりの大切さや大変さ】

観光課の方の話を聞いて、PRに欠かせないことは、大分の良さなど相手にプラスの情報になるものを知らせるということが分かりました。そうすることが、相手がこれから観光するときの手がかりになるから「また来たい」と思ってもらえると思うからです。

(※観光課の人の話を聞き、何度も来県してもらうためのきっかけに迫る姿)

PRに欠かせないことは、大分の良さなど、相手にプラスの情報になるものを知らせるということです。理由は、そうすることで、相手もこれから観光するための手がかりになるし、また来たいと思ってくれるからです。



## 【友だちとの関わり合い】

分担を決めて、作りながら片づけるという家庭科精神が使えた気がする。実験した結果をまとめ、改善のための意見を出し合えたので良かった。グループで話すと改善策のアイデアもたくさん出て次につながりやすいと思った。

作、た石けん合計→41コ、つくりながら、片づけるから家庭科精神が、つかえる気がする。け、う、生産できたので、わめて達成感がありました。今日は、実験の結果のまとめと、あとは、説明書の案を作成する方向性や、か、英語の説明書きは時間がかかりました。

## 【町づくりの大切さや大変さ】

県外の人に大分をガイドするには、まず自分たちが大分の事を何でも答えられるくらい知らないため。でも、僕たちはまだ知らないことが多いと思う。自分たちが知らないのにガイドなんてできるわけがない。だから、今日話を聞いて分からなかったことはもっと聞いたり、自分で確かめに行ったりすることが大事だということが分かった。

(※町づくりの大切さや大変さを体感)

④僕達の班は、パンフレットの中に、大分県のお土産を調べて書く。(物づくり)書、フレットをもっと、大分県をガイドすること、僕達の考えて、この切符を自分で調べて調べるから自分達、大分県についてを知ることが、このこと、ガイドでも、大分県を知らないのに、ガイドできるわけがないから、た、県外の人に大分の良さを、知ってもらって、感謝。

⑤今回調べに行ってみて、行く予定だった所すべてに行けなかった。前、大人目線に聞いて、思ったよりも、実際に行動した時の感想や意見を、書くという意見交換、た、実際に行動した時に、書きも、



## 【友だちや地域の方などの関わり合い】

前に、大人の人たちに聞いたことを確かめに行ってみて、確かに私たち子ども目線では伝わらないこともあると感じた。大人が知りたい事と私たちが伝えたいことがあっていないので、大人目線を大事にしたい。

# 6年3組

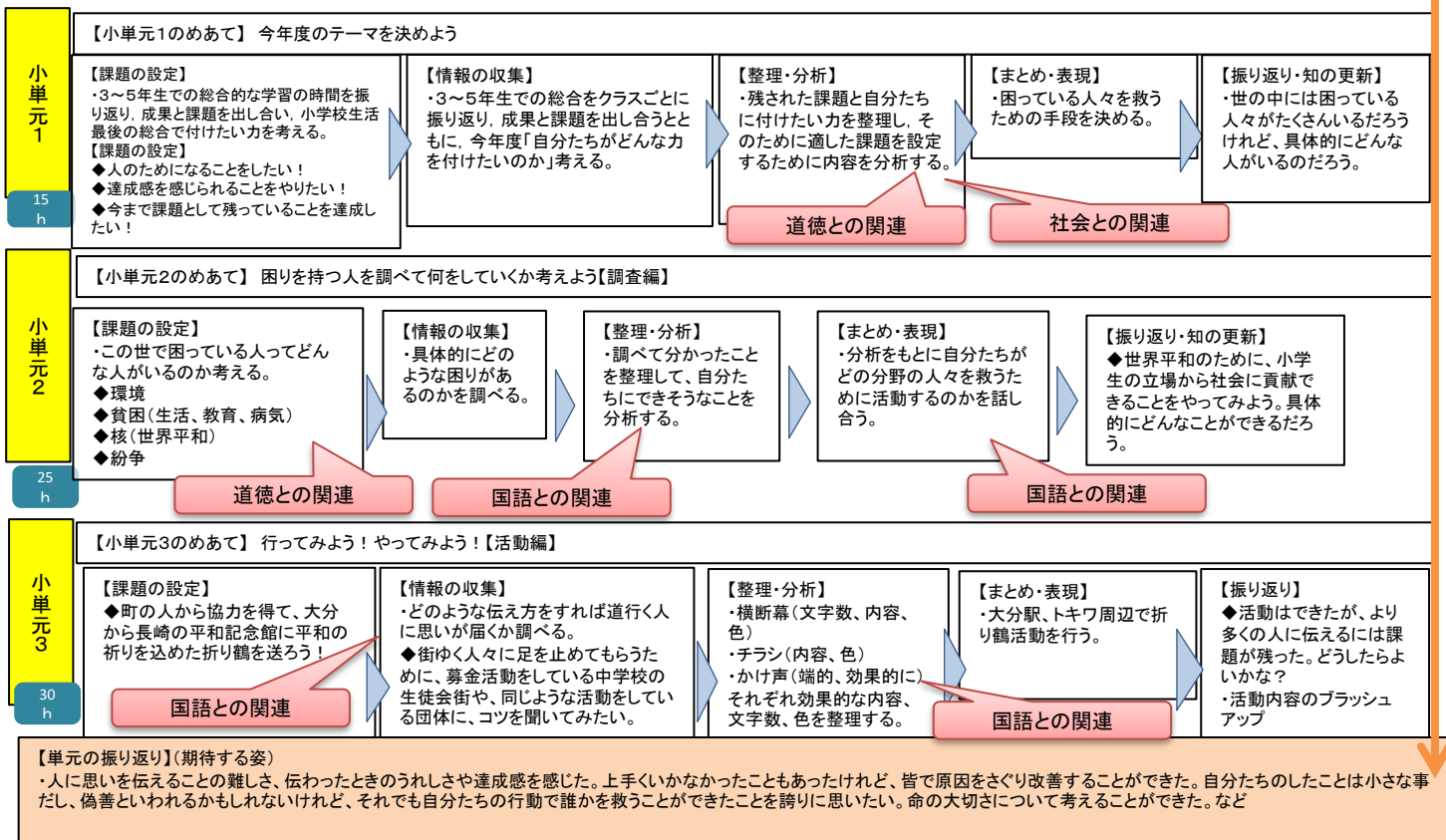
人のために自分のために  
— 世の中の困っている人々を救おう大作戦 —

# 小学校総合的な学習の時間の単元計画【第6学年3組】

探究課題： 貧困などで苦しんでいる人々を救うために活動できる取り組みや組織

単元のねらい： 探究的な見方・働き方を働かせ、紛争などで苦しんでいる人々のために友達と協力したり、自分たちができていることを考えたりしながら、社会貢献に対する興味関心を高めることができるようにする。

単元のめあて： 人のために自分のために ～世の中の困っている人々を救おう大作戦～



# 本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名: 人のために自分のために ～世の中の困っている人々を救おう大作戦～ (小学校第6学年:70時間)

時期	5月～7月	9月～11月	12月～3月
探究の過程	今年度のテーマを決めよう 【計画】 (15時間)	困りを持つ人を調べて何をしていくか考えよう 【調査】 (25時間)	行ってみよう! やってみよう! 【実施】 (30時間)
課題設定	【課題の設定】 ・3～5年生での総合的な学習の時間を振り返り、成果と課題を出し合い、小学校生活最後の総合で付けたい力を考える。 【課題の設定】 ◆人のためになることをしたい! ◆達成感を感じられることをやりたい! ◆今まで課題として残っていることを達成したい!	【課題の設定】 ・この世で困っている人ってどんな人いるのか考える。 ◆環境 ◆貧困(生活、教育、病気) ◆核 ◆紛争	【課題の設定】 ◆町の人から協力を得て、大分から長崎の平和記念館に平和の祈りを込めた折り鶴を送ろう!
情報収集	【情報の収集】 ・3～5年生での総合をクラスごとに振り返り、成果と課題を出し合うとともに、今年度「自分たちがどんな力を付けたいのか」考える。	【情報の収集】 ・具体的にどのような困りがあるのかを調べる。	【情報の収集】 ・上のような伝え方をすれば道行く人に思いが届くか調べる。 ◆街ゆく人々に足を止めてもらうために、募金活動をしている中学校の生徒会街や、同じような活動をしている団体に、コソを聞いてみたい。
整理分析	【整理・分析】 ・残された課題を自分たちに付けたい力を整理し、そのために適した課題を設定するために内容を分析する。	【整理・分析】 ・調べて分かったことを整理して、自分たちにできそうなことを分析する。	【整理・分析】 ・横断幕(文字数、内容、色) ・チラシ(内容、色) ・かけ声(端的、効果的に) それぞれ効果的な内容、文字数、色を整理する。
まとめ 振り返り	【まとめ・表現】 ・困っている人々を救うための手段を決める。  【振り返り・知の更新】 ・世の中には困っている人々がたくさんいるだろうけれど、具体的にどんな人いるのだろう。	【まとめ・表現】 ・分析をもとに自分たちがどの分野の人々を救うために活動するのかを話し合う。  【振り返り・知の更新】 ◆世界平和のために、小学生の立場から社会に貢献できることをやってみよう。具体的にどんなことができるだろう。	【まとめ・表現】 ・大分駅、トキワ周辺で募金活動を行う。 【振り返り】 ◆活動はできたが、より多くの人に伝えるには課題が残った。どうしたらよいか? ・活動内容のブラッシュアップ

【国語】「エッセイカードでエッセイを極めよう」(読む)  
・筆者と自分のものの見方・感じ方・考え方を比べながら読み、物事に対する考えをまとめる(読む力)  
・筆者と自分のものの見方・感じ方・考え方を比べながら読み、物事に対する考えをまとめた意見や感想を共有し、広げる。(読む力)

【国語】「1年生紹介パンフレットで1年生のおうちの方に成長を知らせよう」(書く)  
・目的や意図に応じて書くことを選び、伝えたいことを明確にしている(書く力)  
・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き方を工夫している(書く力)

【国語】「パネルディスカッション」(話す・聞く)  
・目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す。(話すこと・聞くことイ)  
・互いの立場や意図はつきりさせながら、計画的に話し合う(話す・聞く力)

【道徳】「55年目の恩返し」(感謝)  
・日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応える。

【社会】「子どもの成長と国連」  
・地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現する(技)

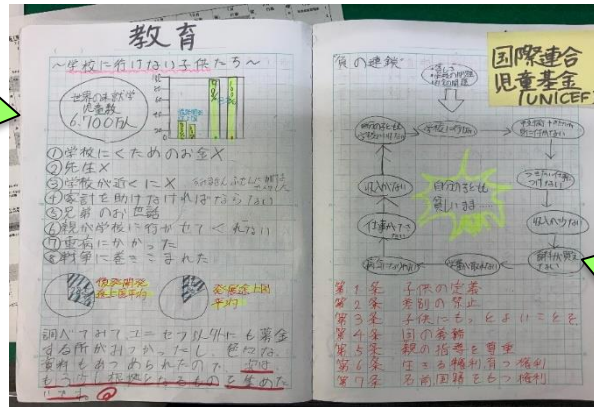
【道徳】「他国の人々のためにできること」(国際理解・国際親善)  
・他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚を持って国際親善に努める。



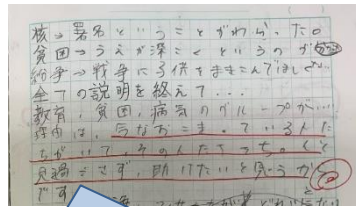
単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方・働き方を働かせ、紛争などで苦しんでいる人々のために友達と協力したり、自分たちができることを考えたりしながら、社会貢献に対する意識を高めることができるようにする。

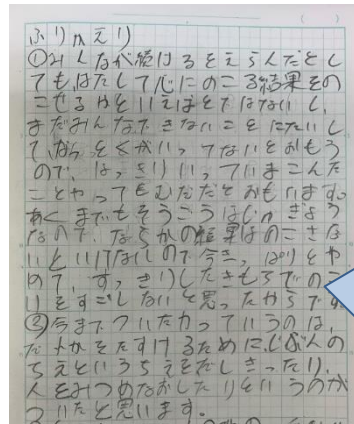
**【困りを抱える人々の現状】**  
 世界には学校に行けない子ども達が6700万人いる。調べてみていろいろな資料を集められたので、次はもう少し根拠となる物を集めたい。(貧困などで苦しんでいる人々などについて、現状の背景にあるものにせまろうとする姿)



**【貧困の背景にあるもの】**  
 学校に行けないと技術や能力が身につかない。すると就きたい仕事に就けない。収入がなく、食料が買えず、病気になりやすい。病気になるとさらに仕事ができなくなって、自分の子どもを学校に通わせられない。貧困には負の連鎖が背景にあることが分かった。(探究的な見方を働かせ、現状の背景にあるものにせまる姿)



**【友達との協力】**  
 みんなの説明を全て聞いて、貧困が原因で教育を受けられない人を助けたいと思った。現実困っている人がいるので、ちゃんと見過ごさず助けたいと思う。



**【社会貢献に対する意識の高まり】**  
 今までに付いた力というのは、誰かを助けるために自分の知恵という知恵を出し切ったり、人を見つめ直したりすることができるようになったと思う。